

平成15年度版

TOURISM OF SAPPORO

札幌の観光

平成14年度観光の概要

Welcome to Sapporo

ようこそ
きらめく四季の
札幌へ

目 次

第1章 札幌市の観光

1 観光行政の取り組み	1
2 観光とコンベンション	6
3 観光行事实施状況	8

第2章 定山溪の観光

1 観光の現況	14
2 定山溪地域振興整備事業	14
3 定山溪温泉の主な施設	15
4 近隣の観光施設	15

第3章 観光客の入り込み状況

1 平成14年度の動向	16
2 観光客の入り込み状況	17
3 交通機関別入り込み状況	19
4 日帰り・宿泊客別入り込み状況	20
5 道内客・道外客別入り込み状況	21

第4章 宿泊施設

1 宿泊調査の概要	22
2 宿泊施設の状況	23
3 宿泊施設利用状況	25
4 外国人の宿泊状況	30
5 修学旅行生の宿泊状況	32

参考資料

1 観光施設利用状況	33
2 定期観光バス利用者数	35
3 札幌発着航空路線	36
4 気象概況	37
5 札幌観光のあゆみ	38
6 市内のイベント(平成15年度)	40

第1章 札幌市の観光

1 観光行政の取り組み

本市では、平成2年に21世紀に向けた観光行政の長期的・総合的施策の指針とすることを目的として「札幌市観光基本計画」を策定した。

この中で、本市の観光を振興するにあたっては「市民にとって住み良い街であることが、訪れる人々にとっても魅力ある街である」を基本理念として、札幌らしい北方の風土に根ざしたより質の高い個性的な観光環境を創造することとした。

この理念をもとに観光振興の基本方向として、

国際観光都市への展開

誘致宣伝の拡充

四季を通してにぎわう観光都市

北の風土特性が誘う観光資源

広域観光ネットワークの形成

ホスピタリティあふれる受け入れ体制

の6つの柱だてを行い、市民生活を基本とした街づくりを進めながら、訪れる人々にとっても魅力ある観光都市を目指し、積極的な事業を展開している。

(1) 観光客向け宣伝・誘致事業

【観光宣伝印刷物など】

日本語パンフレット

道内観光客誘致および来札幌観光客に対する市内ガイド用として「さっぽろ観光ガイド」を50万部作成した。

このガイドマップは、北海道観光連盟の東京・大阪・名古屋案内所に常備しているほか、電話依頼等による個人配布、あるいは旅行代理店を通じ、コンベンション、一般団体旅行、修学旅行向けに大口の配布を行っている。

また、着地情報用としては、カッコウの窓口(市観光コンベンション部内)、市観光案内所(地下鉄大通駅、JR札幌駅、定山溪温泉)、新千歳空港案内所、主要観光施設、宿泊施設など多くの窓口を利用して配布している。

外国語パンフレット

外国人観光客向けパンフレットとしては、英語・中国語(簡体字・繁体字)・ドイツ語・ロシア語・ハングル版を作成しており、これらは、市観光案内所、案内所、国内の観光関連団体および国際観光振興会海外宣伝事務所などを通じて配布している。平成14年度では、英語版3万5千部、ドイツ語版2万部を改訂増刷した。

ビデオ・DVD

平成14年度は、観光宣伝用ビデオ「歓迎交響曲」の日本語・英語版を作成し、従来から作成していた中国語(簡体字・繁体字)・ハングル版とあわせ5カ国語とした。

また、それらのビデオの内容をDVD化し、ビデオとともに貸し出しを行っている。これらは、国内外観光宣伝拠点(国際観光振興会、北海道観光連盟)に常備し、誘致用として活用している。

ポスター

誘致宣伝用として、札幌の四季をイメージしたものや、夏まつり・雪まつりなどのイベントに関するものを作成し、各種催事会場への掲出のほか、全国の百貨店や旅行代理店などの希望者に配布し、PRを図っている。

インターネット

札幌市の魅力や観光情報等をインターネットにより広く情報提供するため、観光とコンベンションのホームページ「ようこそ さっぽろ」を公開している。観光情報は日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)及びハング

ル版，コンベンション情報は日本語及び英語版によりそれぞれ情報を提供している。また，外国人観光客に対し，国際観光振興会のホームページを利用し，地域観光情報を提供している。

ようこそ さっぽろ

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/>

国際観光振興会

<http://www.jnto.go.jp/>

【キャンペーン】

観光客誘致キャンペーン

「好きです。sapporo～さっぽろの夕べ～」をメインテーマとして，観光客が減少した平成4年度から従前の宣伝・誘致事業に加え実施した事業である。平成14年度は以下の都市で街頭キャンペーンなどの観光PRを行い，札幌への観光客誘致に努め，大阪・東京会場については北海道等と連携して共催事業として実施した。

平成14年9月12日(木) 大阪会場

平成14年9月13日(金) 東京会場

平成14年11月13日(水) 岡山会場

平成14年11月14日(木) 神戸会場

観光客誘致キャンペーン年度別開催都市

年 度	開 催 都 市
平成4年度	東京
5年度	東京，大阪，福岡，熊本，長崎
6年度	東京，大阪，別府，宮崎，鹿児島
7年度	東京，大阪，松山，広島，岡山
8年度	東京，大阪，新潟，富山，金沢
9年度	東京，大阪，高松，徳島，高知
10年度	東京，大阪，青森，秋田，酒田
11年度	東京，大阪，松本，名古屋
12年度	東京，大阪，福岡，鹿児島
13年度	東京，大阪，北九州，広島

北海道修学旅行・観光客誘致団

修学旅行および一般観光客を誘致するため，札幌，定山溪，千歳，洞爺，白老等の各地区の自治体・観光協会やJR北海道などが一体となり，誘致団を派遣した。

平成14年11月13日(水)～11月15日(金)

岡 山，神 戸

北海道の物産と観光展

本市の主催および後援により，全国の主要都市約120会場（うち本市主催約80会場）で「北海道の物産と観光展」を開催し，札幌の観光をPRした。

【国際観光誘致事業】

旅行市場として，特に有望な東アジア地域からの旅行客誘致を図るため，以下のような事業を展開した。

1 中国観光セミナー

(1) 平成14年5月2日(木)～9日(木)

(2) 場所：中国 北京市・広州市

2 CITM2002(中国国際旅遊交易会)出展

(1) 平成14年11月14日(木)～17日(日)

(2) 場所：中国 上海市

3 韓国プロモーション事業

(1) 平成14年11月18日(月)～21日(木)

(2) 場所：韓国 ソウル特別市

4 中国マスコミ関係者招へい事業

(1) 平成15年2月9日(日)～16日(日)

(2) 対象者：北京市，広東省マスコミ関係者13名

5 ソウル・札幌の物産と観光フェア開催

(1) 平成15年3月7日(金)～13日(木)

(2) 場所：韓国 ソウル特別市

6 観光関係団体が主催する使節団に協力するとともに，中国からの訪問団や海外マスコミ関係者の受け入れを行い，札幌観光のPRを実施し，観光客の誘致を図った。

協力

「香港～札幌」直行便再開1周年記念親善使節団，台湾雪まつりキャンペーン，上海友好協会訪道団，肇慶市交流友好訪問団，北京市科学技術協会視察団

受入

ノースウエスト航空機内誌取材陣

(2) 観光客受け入れ体制

【観光案内板】

本市では，観光やコンベンションなど様々な目的で訪れる人々にとっても魅力ある観光都市を目指しており，ホスピタリティあふれる受け入れ体制整備の一環として，また，市民にも札幌の良さと魅力ある観光施設等をいま一度見て「さっぽろ再発見」の一助となるように，総合案内板6基と地区案内板26基，中心部及び定山溪地域に歩行者への誘導・案内サインを151基設置している。平成14年度は，定山溪足湯横に総合案内板を新規設置したほか，既設地区案内板について中国語標記を追加し，日本語・英語・中国語（簡体字）・ハングルの4カ国語標記とした。案内板は，ピクトグラム（絵文字）を取り入れ，車椅子利用者等が利用しやすいユニバーサルデザインを採用している。

【観光案内所】

観光客に各種観光情報を提供するため，市

内に観光案内所を設置している。また，外国人旅行者に対して，旅行および観光レクリエーション情報の提供の場として，「i案内所」（国際観光振興会の指定）を整備し，受け入れ体制の充実を図っている。

観光案内所一覧

平成15年3月31日現在

名称	所在地	定休日	営業時間	電話番号
札幌市観光コンベンション部 カッコウの窓口	中央区北1条西2丁目 札幌市役所2階	土日祝 12/29 ～1/3	8:45 ～ 17:15	(011) 211-2376
札幌市 観光案内所	中央区大通西3丁目 地下1階交通案内センター内	12/30 ～1/3	10:00 ～ 18:00	(011) 232-7712
さっぽろ 観光案内所	中央区北5条西3丁目 札幌ステラプレイス・センター1階	年中無休	9:00 ～ 20:00	(011) 209-5020
定山溪 観光案内所	南区定山溪温泉 東4丁目	12/29 ～1/3	9:00 ～ 17:00	(011) 598-2012

i案内所一覧

平成15年3月31日現在

名称	所在地	定休日	営業時間	電話番号
札幌市観光コンベンション部 カッコウの窓口	中央区北1条西2丁目 札幌市役所2階	土日祝 12/29 ～1/3	8:45 ～ 17:15	(011) 211-2376
札幌市 観光案内所	中央区大通西3丁目 地下1階交通案内センター内	12/30 ～1/3	10:00 ～ 18:00	(011) 232-7712
札幌国際プラザi	中央区北1条西3丁目 札幌MNビル1階	12/29 ～1/3	9:00 ～ 17:30	(011) 211-3678
札幌国際プラザ 国際情報コーナー	中央区北5条西3丁目 札幌ステラプレイス・センター1階	年中無休	9:00 ～ 17:30	(011) 209-5030

札幌ドーム



平成13年6月にオープンした札幌ドームには，人工芝の野球と天然芝のサッカーの機能を両立するために開発された世界初のシステム，「ホヴァリングサッカーステージ」が導入されており，2002 FIFAワールドカップにおいては3試合（ドイツ対サウジアラビア，イタリア対エクアドル，アルゼンチン対イングランド）が開催されました。

施設内に国内ドーム初の展望台（高さ53メートル）の他，レストラン，カフェ，スポーツグッズショップ，トレーニングルーム等を備え，スポーツ，コンサートに限らず訪れる人々の楽しさが倍増する演出がいっぱいです。

表1-1 さっぽろ観光案内所（札幌ステラプレイス・センター内）¹⁾ 利用件数 各年度中

年 度	利 用 者 数			案 内 件 数 ²⁾				
	合 計	来訪者数	電話案内	合 計	施 設	宿 泊	交 通	その他
平成10年度	60,379	50,165	10,214	48,388	23,702	2,402	14,342	7,942
11年度	50,354	39,499	10,855	44,942	26,284	2,779	9,856	6,023
12年度	50,676	39,826	10,850	44,727	29,720	2,745	10,598	1,664
13年度	50,664	40,810	9,854	45,845	30,242	2,318	12,250	1,035
14年度	44,562	35,852	8,710	40,403	26,167	2,428	9,995	1,813
前年度比(%)	88.0	87.9	88.4	88.1	86.5	104.7	81.6	175.2

注：1）平成15年3月6日 地下鉄さっぽろ駅構内より移転

2）利用者がグループで利用した場合、利用者数はグループの人数、案内件数は実際に情報提供した件数として集計した。

表1-2 札幌市観光案内所（札幌市交通案内センター内）利用件数 各年度中

年 度	利 用 者 数			案 内 件 数 ^{注)}				
	合 計	来訪者数	電話案内	合 計	施 設	宿 泊	交 通	その他
平成10年度	26,122	20,339	5,783	23,749	9,916	922	8,571	4,340
11年度	24,133	17,913	6,220	22,711	10,745	1,509	6,390	4,067
12年度	23,692	17,884	5,808	21,067	12,376	722	7,050	919
13年度	19,519	13,172	6,347	18,699	11,657	895	5,605	542
14年度	12,129	7,179	4,950	11,790	8,077	606	2,732	375
前年度比(%)	62.1	54.5	78.0	63.1	69.3	67.7	48.7	69.2

注) 利用者がグループで利用した場合、利用者数はグループの人数、案内件数は実際に情報提供した件数として集計した。

表1-3 定山溪観光案内所利用件数 各年度中

年 度	利 用 者 数			案 内 件 数 ^{注)}				
	合 計	来訪者数	電話案内	合 計	施 設	宿 泊	交 通	その他
平成10年度	17,666	8,939	8,727	29,352	7,920	10,461	4,678	6,293
11年度	18,223	9,398	8,825	31,547	8,795	10,872	5,174	6,706
12年度	18,703	9,658	9,045	33,615	9,197	10,356	6,310	7,752
13年度	18,433	9,570	8,863	39,122	11,334	10,879	7,952	8,957
14年度	23,886	12,152	11,734	40,380	12,562	8,635	8,804	10,479
前年度比(%)	129.6	127.0	132.4	103.2	110.8	79.4	110.7	117.0

注) 利用者に複数の種類の案内をしている場合が含まれる。

【観光ボランティア】

本市では、ホスピタリティあふれる観光都市を目指し、昭和61年度から観光ボランティアの育成を行っている。

平成14年度には、200人の観光ボランティアが在籍し、大通公園（5月24日～9月17日）と雪まつり会場での臨時観光案内所で活動している。

また、ライラックまつり、菊まつり、さっぽろ雪まつりの各イベントにも、ボランティアの活動の場が広がっている。

【観光月間】

観光都市さっぽろのイメージアップを図るため、札幌観光協会と協力し、昭和55年度から「好きです。sapporo」をテーマに、毎年7月中旬からの1ヵ月間、観光地美化キャンペーンやワッペン・ステッカー着用運動などを実施している。

【カッコウの窓口】

昭和53年度から市民、観光客への観光・レク情報の提供窓口として、市役所本庁舎内に開設している。

【データ放送】

インターネットホームページ「ようこそさっぽろ」と連携し、地上波テレビデータ放

送においても観光及びコンベンションに関する情報提供を行っており、市内主要観光施設やホテル等に計29台の受信端末を設置している。

(3) その他

【観光関連調査】

定期調査として、市内の観光客入り込み調査、宿泊施設利用状況調査（いずれも年2回）と観光施設利用状況調査（年1回）を実施し、観光行政の指標としている。

【管理施設】

観光客への低廉な宿泊の場として札幌国際ユースホステルを設置している。

〔札幌国際ユースホステル〕

所在地 豊平区豊平6条6丁目5番35号

電話番号 (011) 825-3120

開設年月 平成12年4月

構造/延床面積 鉄筋コンクリート造 地下1階付4階建 / 1,967,64m²

定員/利用期間 120人/通年

管理運営 (財)北海道ユースホステル協会に委託

宿泊料金等 宿泊3,800円(中学生以下3,300円,4歳未満無料)(冷暖房,シーツ料,税込) 食事(朝食850円)

敷地面積 918.93m²

札幌国際ユースホステル



札幌国際ユースホステルは、都心から2kmに位置し、地下鉄東豊線学園前駅に隣接した都市型ユースホステルです。また、公営なので会員以外の皆さんにも低額で安全、快適な宿泊を提供しています。

定員120人、35室の客室には、2人部屋を中心にグループや家族で宿泊できる大部屋のほか、障害のある方も安心して利用できる部屋を設けております。

表1-4 札幌国際ユースホステルの利用状況^{注)}

年 度	利用者数(人)	利用率(%)
平成10年度	3,059	8.4
11年度	2,366	11.1
12年度	11,298	25.8
13年度	12,937	29.5
14年度	14,287	32.6

注)平成12年3月まで、札幌市立ライオンズユースホステルとして営業した。

2 観光とコンベンション

(1) コンベンション推進体制の経緯

地域経済の活性化方策としてのコンベンションの誘致はますます重要性を増している。

コンベンションには、会議、大会、セミナー、見本市・展示会、各種イベント・祭りなどがあり、市内外から数多くの参加者が集まることから、

集客交流産業をはじめとした地域経済の活性化

都市の知名度の向上とイメージアップ

情報の集中による地域文化の創造

などが期待できる。

本市では、昭和62年6月に任意団体「札幌国際交流プラザ運営委員会」を設立し、コンベンション事業、国際交流事業の推進に努めてきたが、さらに事業を充実させるため、平成3年7月に同委員会を法人化し、「財団法人札幌国際プラザ」を設立した。これにより、コンベンションの推進体制がより一層強化された。

なお、札幌市は平成6年10月20日付けで「国際会議観光都市」として、運輸省(当時)の認定を受けた。この認定は、「国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の推進に関する法律」に基づき、申請のあった全国42都市(現在は45都市)に対し行われた。これにより、直接、間接の誘致およ

び支援施策も整備されることとなった。

また、第四次札幌市長期総合計画(平成11年度策定)の実行計画ともなる5年計画(平成12年度～平成16年度)において、集客交流産業振興の一つの柱にコンベンションの推進を位置付け、観光とコンベンションを一体的に推進する体制づくりを進め、札幌の特性を生かした新たなコンベンションの創出等を図ることとしている。

さらに、これを体現していくため、平成12年4月からは、機構改革により本市観光部(平成13年には観光コンベンション部に名称変更)にコンベンション推進課を新設し、計画実施を目指し全庁的な取り組みを進めている。

(2) コンベンション施設

展示場では、札幌流通総合会館(アクセスサッポロ)、北海道立産業共進会場(月寒グリーンドーム)をはじめ、各種会館、ホテルなど数多い。

会議に対する公的施設では、札幌市教育文化会館、札幌市民会館、北海道厚生年金会館などのほか、平成12年には札幌市生涯学習総合センター(ちえりあ)がオープンしている。

また、平成12年2月には、北海道立総合体育センター(きたえーる)が、平成12年4月には札幌メディアパーク・スピカがオープンし、平成13年6月には、札幌ドーム(HIROBA)がオープンしている。さらに、東札幌地区に、本市としては初めての会議と展示を併せて開催できる総合型の札幌コンベンションセンターがしゅん功した。(平成15年6月オープン)

(3) コンベンションの開催状況

「財団法人札幌国際プラザ」では、国際会議、大会、学会等の開催予定をまとめた「コンベンションカレンダー」を作成している。平成15年度に開催が予定されている大会や学会、展示会などは国際大会が39件、全国大会が198件、全道大会が371件の合計608件を見込んでいる。

(4) コンベンション推進施策

コンベンション主催者への支援策として、平成12年度には、開催資金不足の主催者に対する融資制度を創設した。

またアフターコンベンションの充実及び観光施設との連携を図るため、市内10観光施設の協力のもと、入場料金の割引券付きガイドブックを作成し、主催者へ交付したほか、地下鉄1日割引乗車券（通常800円を500円）を主催者に販売する制度を整備している。さらに、14年度には未決定の会議等へ誘致促進助成金交付制度を整備し、札幌での開催を促

し、コンベンション誘致を推進することとしている。

一方、「財団法人札幌国際プラザ」におけるコンベンション誘致体制を強化するため、13年度に誘致課を新設し、さらには14年度に支援課の設置、東京駐在職員を配置する等の機能強化を図っている。

また、映画やテレビのロケーションを支援し、ロケ地観光による観光客の増加や都市のイメージアップにつながる、「さっぽろフィルムコミッション」を同財団に設立した。

表1 - 5 年度別コンベンション開催数

(単位 件, %, 人)

(15年度は見込)

年 度	合 計		国 際 大 会	全 国 大 会	全 道 大 会
	件 数		件 数	件 数	件 数
		前 年 比			
11年度	835	114.9	85	188	562
12年度	804	96.3	77	210	517
13年度	818	101.7	50	212	556
14年度	680	83.1	37	240	403
15年度	608	89.4	39	198	371

札幌コンベンションセンター



札幌コンベンションセンターが、2003年6月、札幌市白石区東札幌地区にオープンしました。地下1階地上3階建(延床面積約20,300㎡)で、会議や展示会などの開催を可能にした総合型コンベンションセンターです。メインとなる大ホール(2,600㎡)はシアター形式で2,500人を収容するほか、特別会議室、中、小15の会議室で構成されています。この他レストランや、立体・平面合わせて約600台の駐車場を設けています。

情報受発信機能に優れ、国際会議から市民のイベントまで幅広く利用できる総合型施設です。

3 観光行事实施状況

札幌の観光にとって、自然が織りなす四季折々の変化が大きな観光資源となっている。これを積極的に活用し、市民のレクリエーションの場を提供するとともに市外からの観光客を誘致することを目的として、本市ではそれぞれの季節感を象徴するイベントを毎年の恒例行事として実施している。これらのイベントは各種の産業分野に経済効果をもたらすと同時に、さまざまな文化活動の活性化にも役立っている。

(1) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきた。昭和35年には、札幌市の人口50万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれている。

5月下旬の開花期になると、大通公園の歩道沿いに植えられた約400本ものライラックが 斉に咲き誇り、甘い香りを放つ。この時期に合わせて開催される「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの開放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントであり、昭和34年度に第1回が開かれてから、平成14年度で44回を迎えた。

(URL)<http://www.sweb.co.jp/kanko/lilac/>



第44回 さっぽろライラックまつりの概要

会 期	平成14年 5月24日(金)~26日(日)	
主会場	大通公園(西4~8丁目)	
主な行事	西4丁目	オープニングセレモニー(記念植樹、苗木プレゼント)
	西5丁目	和紙ちぎり絵展示・教室、創作造花展、似顔絵コーナー、折紙教室、錦鯉の放流式、大道芸、科学館がやってきた、滝野公園ハーブ・クラフトコーナー
	西6丁目	喫茶コーナー、市民音楽の広場、ライラック写生コーナー、スタンプラリー(西5~8丁目)、万華鏡の体験・展示コーナー
	西7丁目	野だて
	西8丁目	みんなで牛肉を食べよう会
観客数	26万5千人	

さっぽろライラックまつりの推移

回数	開催年	主な出来事
第1回	昭和34(1959)年	5月29日(前夜祭)から31日までの3日間、大通西6丁目広場、市民会館、中島スポーツセンターの3会場で開催。市長出席による植樹祭実施。
第3回	昭和36(1961)年	特設舞台で自衛隊の brass band 演奏実施。
第14回	昭和47(1972)年	狸小路2・4・6丁目にて、市民への苗木プレゼント企画を実施。マンガコーナーにて似顔絵プレゼント。
第15回	昭和48(1973)年	大通西5丁目の聖恩碑の池にて錦鯉の放流はじめる。各種学校19校の生徒30人がライラック娘として登場。
第17回	昭和50(1975)年	野だてでの市民サービス実施。
第18回	昭和51(1976)年	大通公園においては初の苗木プレゼント実施。
第21回	昭和54(1979)年	第1回さっぽろ音楽祭実施
第39回	平成9(1997)年	会期5月23日(金)~25日(日)、観客数33万人。ミュンヘン市との姉妹提携25周年記念で来札中のミュンヘン市長等訪問団がオープニングセレモニーに出席。
第40回	平成10(1998)年	会期5月22日(金)~24日(日)、26日(火)、観客数35万5千人。40回記念として、感謝状贈呈式、親子写生会を実施。インターネットホームページの開設。5月26日(火)に花競不惑 忠臣蔵を開催。
第41回	平成11(1999)年	会期5月21日(金)~23日(日)、観客数38万4千人。新行事のすずらん栽培教室、文化の玉手箱を実施。
第42回	平成12(2000)年	会期5月26日(金)~28日(日)、観客数23万1千人。新行事の万華鏡の体験・展示コーナーを実施。
第43回	平成13(2001)年	会期5月25日(金)~27日(日)、観客数30万2千人。
第44回	平成14(2002)年	会期5月24日(金)~26日(日)、観客数26万5千人。新行事の和紙ちぎり絵展示・教室等を実施。

(2) さっぽろ夏まつり

昭和25年に始まった「さっぽろ雪まつり」が市民に定着し、冬場の札幌観光の目玉として脚光を浴び始めていた昭和29年、夏の観光名物の新規開拓を目指して、それまで市内の各団体・地域がそれぞれ独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられた。「さっぽろ夏まつり」の誕生である。

現在、この祭りは毎年7・8月に1ヵ月間連続して開催され、大通会場をはじめ狸・すすきの・かっぱの3祭りとは各団体、各地域の催しものから構成されている。そしてこのイベントの中心となっているのがピアガーデンと盆踊りである。祭りの前半には、メイン会場の「大通納涼ガーデン」に色とりどりのパラソルの花が咲き、ジョッキ数十万杯分の生ビールが市民や観光客ののどを潤す。

後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、大勢の市民と観光客で踊りの輪が広がっていく。

また、14年度から、新規行事である「ザ・パレード～大群舞・仮装コンクール」を実施した。これは、前年度まで実施されていた「さっぽろ国際フェスティバル」の「熱響舞夏」(ねっきょうまいさまー)でおなじみだった「大群舞・北海盆踊り」と、恒例の「仮装コンクール」を同じ日に実施するという新たな試みであったが、天候にも恵まれて大盛況であった。

(URL)<http://www.sweb.co.jp/kanko/natsu/>



第49回 さっぽろ夏まつりの概要

会 期	平成14年7月22日(月)～8月20日(火)(30日間)	
主な行事	大通公園	福祉協賛大通納涼ガーデン (7月22日～8月11日 西2・3,5～8,10・11丁目) ピアガーデンは西5～8,10・11丁目 北海盆踊り大会(8月14日～8月20日,西8丁目) 「ザ・パレード」は17日,西5～8丁目路上 さっぽろパゼール(8月14日～20日,西7丁目)
	狸小路	第49回狸まつり(7月22日～8月20日)
	すすきの	第38回すすきの祭り(8月1日～3日)
	定山溪	第38回定山溪かっぱまつり(8月3・4日)
観客数	161万3千人	

さっぽろ夏まつりの推移

回 数	開 催 年	主 な 出 来 事
第1回	昭和29(1954)年	7月17日から8月17日までの32日間、中島公園をメイン会場として開催(会期日数は次回以降増減を繰り返す)。ボート祭り、盆踊り、花火大会、ほたる狩り、七夕祭りなど数々の催しものが繰り広げられた。
第2回	昭和30(1955)年	「狸まつり」が初参加。
第3回	昭和31(1956)年	仮装盆踊り実施(中島公園)。
第4回	昭和32(1957)年	メイン会場を中島公園から大通西2丁目広場に移動。
第6回	昭和34(1959)年	大通西6丁目に「ピアガーデン」初登場。
第12回	昭和40(1965)年	「すすきの祭り」と「定山溪温泉かっぱ祭り」初参加。
第22回	昭和50(1975)年	「さっぽろパゼール」初登場。
第26回	昭和54(1979)年	ピアガーデンが「福祉協賛大通納涼ガーデン」となり、以後定着。
第32回	昭和60(1985)年	会期を7月21日から8月20日の31日間に固定。
第43回	平成8(1996)年	観客数316万3千人、ビール消費量21万2千ℓ。仮装盆踊り参加者77組597人。
第44回	平成9(1997)年	観客数245万1千人、ビール消費量25万4千ℓ。仮装盆踊り参加者73組560人。
第45回	平成10(1998)年	観客数259万1千人、ビール消費量27万6千ℓ。仮装盆踊り参加者70組487人。
第46回	平成11(1999)年	観客数226万5千人、ビール消費量32万8千ℓ。仮装盆踊り参加者70組601人。
第47回	平成12(2000)年	観客数234万4千人、ビール消費量31万4千ℓ。仮装盆踊り参加者74組612人。
第48回	平成13(2001)年	観客数209万3千人、ビール消費量26万5千ℓ。仮装盆踊り参加者55組508人。
第49回	平成14(2002)年	観客数161万3千人、ビール消費量25万6千ℓ。「ザ・パレード」参加者107組2775人。

(3) さっぽろ菊まつり

昭和30年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまでばらばらであった小規模な同好会の活動が本化され、全市的なスケールのイベント「さっぽろ菊花展」が誕生した。昭和38年の第1回開催から4年を経た第5回からは、名称は「さっぽろ菊まつり」に変わっている。菊作りをする側だけが主役となりがちな展示会から、鑑賞する市民も催しの参加者となって共に楽しむ祭りへ、という発想の転換である。

札幌市の秋の恒例行事として内外に定着したこの祭りは、現在、さっぽろ地下街のオーロラタウンとポールタウン、地下鉄大通駅コンコースを会場として開催されている。「大輪3本仕立」^{けんがい}、「懸崖仕立」など丹精込めた作品が4日間にわたって通りの中央にずらりと並び、その数は毎年、数百点に達する。

平成14年度の「2002さっぽろ菊まつり」で、通算40回目の記念開催となった。

また、14年度より、菊づくり愛好者の裾野を広げ、より多くの方に菊まつりに出品していただくことができるよう、初心者菊づくり技術講習会を実施し、60人が受講した。

(URL)<http://www.sweb.co.jp/kanko/kiku/>



2002 さっぽろ菊まつりの概要

会 期	平成14年11月1日(金)～11月4日(月)(4日間)
会 場	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン、地下鉄大通駅コンコース
主な行事	開会式、菊花プレゼント(11月1日) 菊花展、初心者相談コーナー、菊作り技術講習会、菊オブジェ(11月1日～11月4日)
観 客 数	140万人

さっぽろ菊まつりの推移

回 数	開 催 年	主 な 出 来 事
第1回	昭和38(1963)年	「さっぽろ菊花展」として登場。期間は10月29日～11月5日(8日間)、大通公園西7丁目を会場とする。出品菊花451点、出品者120人。
第5回	昭和42(1967)年	「さっぽろ菊まつり」と改称。
第6回	昭和43(1968)年	会場を大通西8丁目に移す。
第9回	昭和46(1971)年	文部・農林水産・運輸の3大臣賞の設定。
第12回	昭和49(1974)年	会場をさっぽろ地下街に移す。相談コーナー登場。ミスさっぽろが市民に菊花のプレゼント。
第24回	昭和61(1986)年	北海道開発庁長官賞が新設される。
第30回	平成4(1992)年	出品数953点、出品者数190人。
第31回	平成5(1993)年	出品数853点、出品者数163人。
第32回	平成6(1994)年	出品数778点、出品者数194人。
第33回	平成7(1995)年	出品数731点、出品者数164人。
第34回	平成8(1996)年	出品数773点、出品者数156人。
第35回	平成9(1997)年	出品数763点、出品者数161人。
第36回	平成10(1998)年	出品数770点、出品者数176人。
第37回	平成11(1999)年	出品数814点、出品者数168人。
第38回	平成12(2000)年	出品数776点、出品者数164人。
第39回	平成13(2001)年	出品数862点、出品者数169人。総務大臣賞、環境大臣賞が新設される。
第40回	平成14(2002)年	出品数817点、出品者数182人。

(4) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和56年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、今では冬の到来を告げる風物詩として定着しているこの行事も、当初は大通公園の西2丁目のみを会場に1,048個の電球からスタートした。現在は、大通公園の全域と駅前通りを会場とするに至り、37万個もの電球が飾られたシンボルオブジェや立木が東西・南北両方向に街を貫く。北の街の夜を幻想的に彩る「光の芸術」と形容されるこの催しは、例年、クリスマスシーズンや大みそかのカウントダウンの際にひときわ盛り上がりを見せている。

(URL)<http://www.sweb.co.jp/kanko/white/>

第22回 さっぽろホワイトイルミネーションの概要

会 期	大通公園	平成14年11月22日(金)~平成15年1月5日(日)(45日間)
	駅前通り	平成14年11月22日(金)~平成15年2月11日(火)(82日間)
会 場	大通公園	大通西1~8丁目
	駅前通り	北5条(札幌駅前)~南4条
主な行事	点 灯 式	11月22日
	連 日 の 点 灯	電球 370,000個 点灯時間16:00~22:00 12月23・24・25・31日は24:00まで
	写真コンテスト	応募作品数 258点 表彰式 2月8日(土)
	ミュンヘン・クリスマス市 in sapporo	大通西2丁目 11月23日(土)~12月15日(日)
	カウントダウン	大通西2丁目, 12月31日(火)



さっぽろホワイトイルミネーションの推移

回数	開 催 年	主 な 出 来 事
第1回	昭和56(1981)年度	初冬の新イベントとして初登場。期間は12月12日~1月5日(25日間)。会場は大通公園西2丁目のみ。使用電球数1,048個。
第4回	昭和59(1984)年度	造形作家15人による「光の造形展」第1回の開催。
第6回	昭和61(1986)年度	駅前通りの立木(南大通~南4条)に新たに電飾、期間を「さっぽろ雪まつり」終了時まで延長。
第8回	昭和63(1988)年度	駅前通りの立木装飾を札幌駅前まで延長し、1.2kmのイルミネーションストリートを実現。
第11回	平成3(1991)年度	市民による「光る作品」を募集・展示。
第12回	平成4(1992)年度	大通会場の会期11月21日~1月7日。観客数198万人(大通140万人・駅前通り58万人)
第13回	平成5(1993)年度	大通会場の会期11月19日~1月7日。観客数200万人(大通141万人・駅前通り59万人)
第14回	平成6(1994)年度	大通会場の会期11月19日~1月7日。電球数36万5千個。巨大バルーン「イルミくん」登場。観客数200万人(大通145万人・駅前通り55万人)
第15回	平成7(1995)年度	大通会場の会期11月17日~1月7日。電球数36万5千個。「写真コンテスト」実施。6丁目会場に光ファイバーパネル「光の動物園」の新設。
第16回	平成8(1996)年度	6丁目会場に光ファイバー造形物「光の星座」5丁目会場にトゥインクルガーデン(光の花畑)を新設。日本建築美術工芸協会賞特別賞を受賞。観客数208万人。
第17回	平成9(1997)年度	5丁目会場に新規オブジェ「光る帆船」、2丁目会場に光ファイバー造形物「宇宙の花」を新設。各広場にネーミングを付け、より親しみやすい空間を演出。
第18回	平成10(1998)年度	4丁目会場に3基の大型オブジェを配置し、光の集約化を図る。2丁目会場で光の造形作家による作品を展示。7丁目会場をイベント会場として観光客等に開放。
第19回	平成11(1999)年度	3丁目から5丁目にかけて、歩道に置かれた48本のツリーによる「光のツリーロード」を新設。
第20回	平成12(2000)年度	20回を記念して、第1回開催時のオブジェ「トライアングル」を設置したほか、初回から現在までの、イルミネーションポスター展を実施。
第21回	平成13(2001)年度	2丁目会場に市民ボランティアの協力を得て、太陽光によるソーラーツリーを設置。
第22回	平成14(2002)年度	3丁目と4丁目の噴水まわりに12本の「クリスマスデコレーションツリー」を新設した。

(5) さっぽろ雪まつり

戦後の復興がようやく緒についたばかりの昭和25年、市内の高校4校、中学2校の生徒たちが大通公園の西7丁目に作った小さな雪像6基からスタートした。今日のレジャー全盛からは程遠い時代、わずかの楽しみを求めて集まった市民は、小雪像を囲んでのスクエアダンスや映画会を楽しんだ。

市民の冬のレクリエーションという性格が強く、催しもの中心であった初期の雪まつりも、回を重ねるごとに雪像が数と規模を増し、内容を充実させつつ飛躍的に成長を遂げ、今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっている。

現在、この祭りは主会場の大通公園のほか、真駒内、すすきの3会場で開催されており、総数で300基を超える雪氷像が、7日間にわたって市民や観光客を楽しませる。

(URL)<http://www.snowfes.com/>

第54回 さっぽろ雪まつりの概要

会 期	平成15年2月5日(水)～11日(火・祝)(7日間)		
会 場	大 通 会 場	大通西1丁目～12丁目	
	真 駒 内 会 場	陸上自衛隊真駒内駐屯地	
	すすきの会 場	駅前通り(南4～7条間)	
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉開放(真駒内会場, 2月4日) ・開会式(真駒内会場, 2月5日) ・雪氷像展示(3会場, 2月5～11日) 雪氷像数 308基(大通会場 202基, 真駒内会場 6基, すすきの会場 100基) 雪輸送量 46,768m³(5tトラック 5,846台分) ・第30回国際雪像コンクール(大通西11丁目 審査会・表彰式 2月7日)参加チーム16組, 優勝 Aグル-プ 中国 Bグル-プ インド ・ミニS L(真駒内会場, 2月5日～11日) ・さよなら雪まつり(大通西10丁目, 2月11日) 		
延べ観客数	223万3千人		
実人数 ^(注)	総 数	191万4千人	
	市 民	96万3千人	
	市 民 外	95万1千人	
	道 内	道 内(日帰り)	42万6千人
		道 内(宿泊)	15万1千人
		道 外	31万8千人
道 外	5万6千人		

注: 実人数とは大通と真駒内の両会場を見物した観客数を重複分として差し引いた数。



さっぽろ雪まつりの推移

回 数	開 催 年	主 な 出 来 事
第1回	昭和25(1950)年	2月18日に大通西7丁目にて初開催。
第4回	昭和28(1953)年	高さ15mの大雪像が初登場。
第6回	昭和30(1955)年	自衛隊が初めて雪像作りに参加。
第9回	昭和33(1958)年	会期を3日間に延長, 前夜祭を初めて実施。
第16回	昭和40(1965)年	真駒内を第2会場として設置。大通西9丁目を「市民の広場」として開放。
第17回	昭和41(1966)年	会期を4日間に延長。
第23回	昭和47(1972)年	オリンピック会場を設置し, 史上最大の雪像(高さ25m)を制作。地下鉄南北線の開通で大通・真駒内両会場が直結。
第24回	昭和48(1973)年	会期を5日間に延長。小学生から大雪像アイデアを募集。真駒内会場で第1回ミニS L試乗会。
第25回	昭和49(1974)年	第1回国際雪像コンクール開催。
第29回	昭和53(1978)年	テーマを「純白の夢よぶ世界のひろば」に統一。
第34回	昭和58(1983)年	すすきのを第3会場として設置。
第38回	昭和62(1987)年	会期を7日間に延長。市民の大中雪像制作への体験参加。
第40回	平成元(1989)年	雪氷像数 310基, 延べ観客数 196万4千人。
第41回	平成2(1990)年	中島公園を第4会場として設置。雪氷像数 348基, 延べ観客数 211万2千人。
第42回	平成3(1991)年	雪氷像数 361基, 延べ観客数 235万7千人。
第43回	平成4(1992)年	雪氷像数 366基, 延べ観客数 227万7千人。
第44回	平成5(1993)年	中島会場を廃止し, 大通西12丁目を拡大。雪氷像数 340基, 延べ観客数 204万7千人。
第45回	平成6(1994)年	雪氷像数 326基, 延べ観客数 195万3千人。
第46回	平成7(1995)年	雪氷像数 330基, 延べ観客数 191万2千人。
第47回	平成8(1996)年	雪氷像数 330基, 延べ観客数 204万4千人。
第48回	平成9(1997)年	雪氷像数 327基, 延べ観客数 217万4千人。
第49回	平成10(1998)年	雪氷像数 326基, 延べ観客数 200万7千人。
第50回	平成11(1999)年	歴史展 記念コンサート実施。記念誌発行。雪氷像数 328基, 延べ観客数 220万1千人。
第51回	平成12(2000)年	雪氷像数 330基, 延べ観客数 216万8千人。
第52回	平成13(2001)年	雪氷像数 325基, 延べ観客数 234万4千人。
第53回	平成14(2002)年	大雪像制作へ市民ボランティアが初参加。雪氷像数 312基, 延べ観客数 229万7千人。
第54回	平成15(2003)年	雪氷像数 308基, 延べ観客数 223万3千人。

(7) YOSAKOIソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、翌年の平成4年、その感動を再現する新イベントを札幌に創り出した。

よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせた「YOSAKOIソーラン祭り」の誕生である。

鳴子を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれが、ソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内に展開する各会場で腕を競い合う。

平成10年開催の第7回から、祭りの急速な規模拡大に対応するため、学生中心の実行委員会に代わって、経済界や本市などが加わり組織委員会が結成され、運営・管理体制の強化が図られた。

本市の新しいタイプの祭りとして、広く市民の共感を得ており、今後ますます大きなイベントとなる可能性が期待されている。

(URL) <http://www.yosanet.com/>



第11回 YOSAKOIソーラン祭りの概要

会 期	平成14年 6月18日(火)~23日(日)
会 場	大通西8丁目, 他全27会場
参加チーム	344組
参加者数	4万4千人
観 客 数	151万人

YOSAKOIソーラン祭りの推移

回 数	開催年	規 模
第1回	平成4年 (1992)	参加チーム10組, 参加者数約1,000人, 観客数20万人。
第4回	平成7年 (1995)	参加チーム48組, 参加者数約4,800人, 観客数76万人。
第5回	平成8年 (1996)	参加チーム108組, 参加者数約1万人, 観客数107万人。
第6回	平成9年 (1997)	参加チーム183組, 参加者数1万9千人, 観客数139万人。
第7回	平成10年 (1998)	参加チーム280組, 参加者数2万9千人, 観客数180万7千人。
第8回	平成11年 (1999)	参加チーム333組, 参加者数3万4千人, 観客数193万5千人。
第9回	平成12年 (2000)	参加チーム375組, 参加者数3万8千人, 観客数182万5千人。
第10回	平成13年 (2001)	参加チーム408組, 参加者数4万1千人, 観客数201万3千人。
第11回	平成14年 (2002)	参加チーム344組, 参加者数4万4千人, 観客数151万人。

藻 岩 山



藻岩山は、アイヌ語で「いつもそこに上って眺望する所」と呼ばれた、標高531mの山です。

450種類の植物が育成する一帯の原始林は1921(大正10)年に北海道第1号の天然記念物に指定され、北海道自然百選にも選ばれております。

山頂展望台では、180万都市札幌の街並みはもとより、北には石狩川、そして弧状に海を抱く石狩湾、南は支筋湖方面の恵庭岳までも一望できる札幌有数の観光スポットです。

第2章 定山溪の観光

1 観光の現況

定山溪温泉は、都心部から南西約30kmの豊平川溪谷にあり、安政5年(1858年)松浦武四郎により発見され、慶応2年(1866年)僧侶美泉定山^{みいづみじょうざん}によって開発されたといわれている。

支笏洞爺国立公園に位置する定山溪温泉は、雄大な山岳と溪谷を背景とした自然景観に恵まれ、さらに豊富な湯量を誇る全国でも有数の温泉地であるとともに、市民の健全なレクリエーションの場でもある。

現在、同地には政府登録旅館や公的保養施設を中心に34の宿泊施設があり、日当たり約10,000人の収容規模を誇るとともに、年間を通じ230万人を超える道内外からの観光客が訪れる。

定山溪温泉の二大イベントの一つである「かっぱ祭り」は、そのにぎやかさで観光客に好評を博し、夏の風物詩となっている。またもう一つのイベントである平成3年に始まった「もみじ大茶会」も年々規模を拡大し、紅葉の定山溪温泉の魅力を高めている。

平成8年には開湯130年を迎えたことから、定山溪観光協会では、「健康保養地定山溪温泉」を宣言し、各種イベントとして、森林マラソン等、トレイル・フェスティバルを行っている。

また、平成9年度には支笏洞爺国立公園内にある洞爺湖温泉、登別温泉とともに「道央三温泉協議会」を設立し、「北街道三大湯郷(ゆきょう)」の共通ネーミングで、観光客誘致のための広域的活動を展開することになった。

2 定山溪地域振興整備事業

このように定山溪温泉は、本市の重要な観光地であるが、昭和50年代前半に観光客数が激減したことに伴い、これを契機に、昭和54年度から「環境保全の強化」、「住みよい街づくりの推進」及び「魅力ある観光地づくりの推進」を基調とした同地域の振興整備計画を策定し、現在までに、二見公園の改良、定山溪中央線の道路整備、月見橋の架け替え、メルヘンかっぱ像の設置、定山溪温泉街1号線のモール化、二見吊橋の架け替え、豊平峡ダム周辺整備、湯の滝改修等を行ってきた。

表2-1 定山溪地域実施事業

年度	事業費(千円)	事業概要
54 ～ 58	887,639	二見公園改良および河畔園地造成工事 二見吊橋補修工事(橋板取り替え等) 河岸法面修景工事、定山溪中央線道路整備工事 散策路の開発と整備(溪流コースほか 案内板設置)
59 ～ 63	492,834	定山溪中央線道路整備工事、街路灯設置工事 水生植物園地造成工事 公衆便所、あずま屋新築工事 河畔園地散策路等補修
元	33,630	定山溪ダム下流レクリエーション施設整備ほか
2	43,200	メルヘンかっぱ像設置ほか
3	65,660	定山溪温泉街1号線モール化工事ほか
4	7,800	二見公園擬木柵改修
5	7,550	二見公園パーゴラ補修、施設誘導案内板設置ほか
6	4,800	二見公園入口修景、歓迎塔用地緑化修景
7	14,817	二見吊橋実施設計
8	92,319	二見吊橋架替工事、豊平峡ダム周辺標識整備
9	47,788	二見吊橋周辺整備、豊平峡ダム駐車場実施設計ほか
10	101,799	豊平峡ダム駐車場整備工事、湯の滝改修ほか
11	6,000	二見公園水道等補修、定山溪観光客誘致促進事業
12	3,500	定山溪観光客誘致促進事業
13	21,393	定山溪地域振興整備事業(手湯、足湯整備) 定山溪観光客誘致促進事業
14	3,597	定山溪地域振興整備事業 定山溪観光客誘致促進事業(体験ガイド作成)
合計	1,834,326	

3 定山溪温泉の主な施設

観光コンベンション部が管理している定山溪温泉の主な施設としては次のものがある。

(1) 二見公園

昭和27年ころ地元住民が観賞用として花・木類を植栽し、その後、旧豊平町が北海道知事より河川敷地の一部を憩いの場として借用したのが二見(旧双見)公園の始まりである。

昭和36年5月、本市と豊平町の合併により、定山溪観光協会の協力のもとで公園として本格的に整備をし、現在に至っている。

所在地 南区定山溪温泉西4丁目

(2) 河畔園地

定山溪を訪れる市民や観光客に憩いの場を提供するため、豊平川の河川敷地に散策ができる園路を造成した。

二見河畔園地

所在地 南区定山溪温泉西4丁目

月見橋下流河畔園地

所在地 南区定山溪温泉東3丁目

(3) 二見吊橋

定山溪温泉市街地を二分している豊平川に架けられている二見吊橋は、昭和30年定山溪月見橋架け替えの際、人道仮橋として架けられたつり橋を現在の場所に移設したものである。

同つり橋は、左岸の二見河畔園地と右岸の散策路を結ぶ重要な架け橋として、市民や観光客に利用されている。

なお、平成8年老朽化のために架け替え工事を行った際、定山溪温泉の観光資源として、魅力ある「つり橋らしいつり橋」にデザインを新した。

所在地 南区定山溪温泉西4丁目

(4) 多目的公共広場

定山溪を訪れる市民や観光客が、休憩やスポーツ、催事などに利用できる多目的公共広場を設けた。

所在地 南区定山溪温泉東4丁目

(5) かつば像

明治の頃から、かつば淵として親しまれている溪流にちなんで、メルヘンかつば像(20体)を河畔園地、散策コースなどに配置し、市民および観光客に親しまれている。

(6) かつば家族の願かけ手湯

国道230号線に面した定山溪温泉街の入口に定山溪温泉のランドマークとして定山溪の温泉を手軽に体感できる施設を平成13年度に整備した。

(7) 長寿と健康の足つぼの湯

平成13年度に定山溪の新名所を創出するため、温泉入浴を気軽に楽しむと同時に湯船に埋め込まれた小石が足つぼを刺激する「足」専用の温泉施設を整備した。

4 近隣の観光施設

(1) 豊平峡ダム

豊平川最上流の原始林に囲まれたアーチ式ダムで、紅葉狩りの名所として多くの市民・観光客が訪れている。

平成8年度から、豊平峡ダム周辺整備事業として、標識の整備、遊歩道の整備等を実施し、平成10年度には豊平峡ダム駐車場整備工事および公衆トイレ設置工事を実施した。

(2) 定山溪ダム・ダム下流園地

小樽内川にある重力式多目的ダム。

ダム下には、広々とした公園が整備され、ダム資料館が設置されている。

(3) 札幌国際スキー場

札幌近郊の雪質の良いスキー場として人気があり、初心者から上級者向けまで多彩なコースを備えていることから、市民はもとより観光客にも利用されている。

第3章 観光客の入り込み状況

1 平成14年度の動向

(1) 観光客の入り込み状況

来札観光客は1,325万1千人

平成14年度に札幌を訪れた観光客は、前年度の1,328万人に対し1,325万1千人（対前年度比0.2%減）と、若干減少している。

今年度の特徴としては、

- ・ 6月～11月にかけて、前年度と比べ減少したが、12月以降は増加している。
- ・ 道外客の入り込みが増加している。
- ・ 交通機関別では航空機・JR、貸し切りバスでの入り込みが増加している。

などがあげられるが、これらの原因としては、

- ・ 6月にワールドカップサッカー大会が、札幌ドームで開催された。
- ・ イラク戦争、重症急性呼吸器症候群（SARS）など、国際情勢の不安から、旅行手控えが見られた。
- ・ 3月に大型ショッピングモールが、札幌駅にオープンした。

などの影響が大きいものと考えられる。

(2) 交通機関別入り込み状況

航空機・JR・貸し切りバスが前年を上回る。

交通機関別に見ると、航空機（3,061千人・対前年度比1.2%増）、JR（3,199千人・同2.2%増）貸し切りバス（2,673千人・同0.6%増）が前年を上回った。

反して乗用車（3,859千人・対前年度比2.7%減）路線バス（459千人・同8.6%減）が前年度を下回った。

航空機、貸し切りバスの増加については、道外客が前年度比（0.6%増）で増加していること、JRの増加は、3月にJRタワーがオープンした影響が大きいと思われる。

(3) 日帰り・宿泊客別入り込み状況

構成比 日帰り客52.8% 宿泊客47.2%

来札観光客の日帰り・宿泊客の内訳は、日帰り客が6,998千人で前年度より2.8%の減少、同じく宿泊客が6,253千人で2.8%の増加となった。これは、道外客の増加傾向を裏付けるものとなった。

(4) 道内客・道外客別入り込み状況

構成比 道内客54.2% 道外客45.8%

来札観光客の道内・道外客の内訳は、道内客が7,180千人で、前年度より0.9%の減少、同じく道外客は、6,071千人で0.6%の増加となった。



定山溪温泉の由来

備前の国（岡山県）出身の僧侶・美泉定山によって、慶応2年（1866年）に開発された。漁民たちの奉仕によって、温泉までの山道が切り開かれた後、同僧により草ぶきの仮小屋が建てられ、だれでもが自由に来泊できるようになった。その後、湯守になるなど、定山溪の発展に生涯を捧げた同僧にちなんで「定山溪温泉」と命名された。

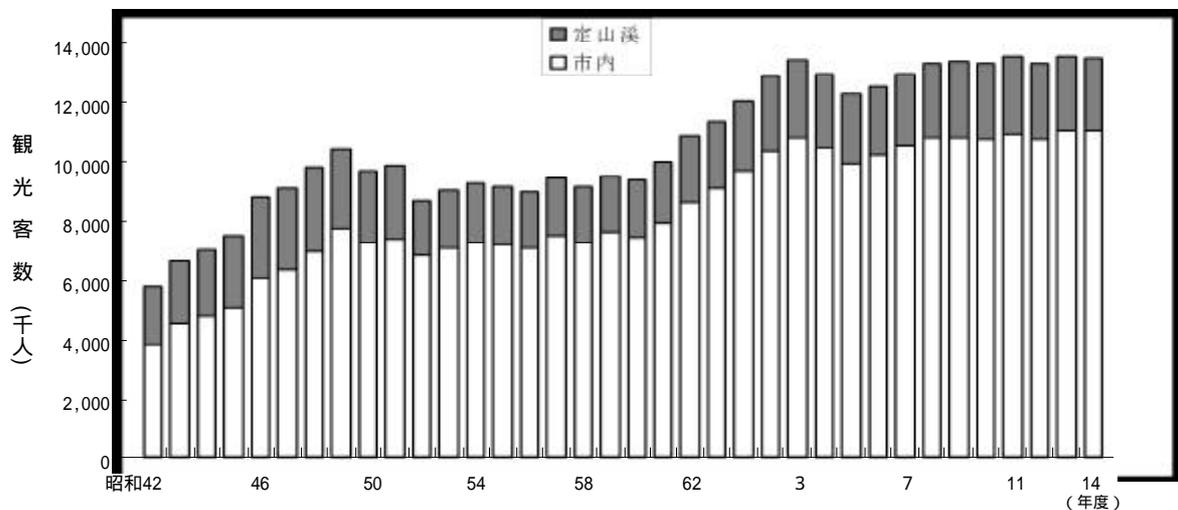
2 観光客の入り込み状況

表3 - 1 来札観光客数の推移

各年度中

年 度	全 市		うち定山溪地域	
	観光客数 (千人)	前年度比 (%)	観光客数 (千人)	前年度比 (%)
昭和42(1967)年度	5,630	108.0	1,880	105.5
43(1968)年度	6,554	116.4	2,134	113.5
44(1969)年度	6,878	104.9	2,219	104.0
45(1970)年度	7,318	106.4	2,335	105.2
46(1971)年度	8,607	117.6	2,628	112.6
47(1972)年度	8,912	103.5	2,656	101.1
48(1973)年度	9,614	107.9	2,762	104.0
49(1974)年度	10,210	106.2	2,654	96.1
50(1975)年度	9,525	93.3	2,388	90.0
51(1976)年度	9,703	101.9	2,457	102.9
52(1977)年度	8,499	87.6	1,793	73.0
53(1978)年度	8,840	104.0	1,886	105.2
54(1979)年度	9,100	102.9	1,961	104.0
55(1980)年度	8,970	98.6	1,920	97.9
56(1981)年度	8,785	97.9	1,869	97.3
57(1982)年度	9,290	105.7	1,914	102.4
58(1983)年度	8,981	96.7	1,855	96.9
59(1984)年度	9,324	103.8	1,884	101.5
60(1985)年度	9,190	98.6	1,873	99.4
61(1986)年度	9,805	106.7	2,033	108.6
62(1987)年度	10,661	108.7	2,228	109.5
63(1988)年度	11,126	104.4	2,231	100.1
平成元(1989)年度	11,847	106.5	2,331	104.5
2(1990)年度	12,634	106.6	2,456	105.3
3(1991)年度	13,177	104.3	2,535	103.2
4(1992)年度	12,736	96.7	2,460	97.1
5(1993)年度	12,046	94.6	2,313	94.0
6(1994)年度	12,334	102.4	2,316	100.1
7(1995)年度	12,696	102.9	2,356	101.7
8(1996)年度	13,054	102.8	2,446	103.8
9(1997)年度	13,106	100.4	2,468	100.9
10(1998)年度	13,081	99.8	2,515	101.9
11(1999)年度	13,304	101.7	2,565	102.0
12(2000)年度	13,050	98.1	2,517	98.1
13(2001)年度	13,280	101.8	2,434	96.7
14(2002)年度	13,251	99.8	2,392	98.3

図3 - 1 来札観光客数の推移



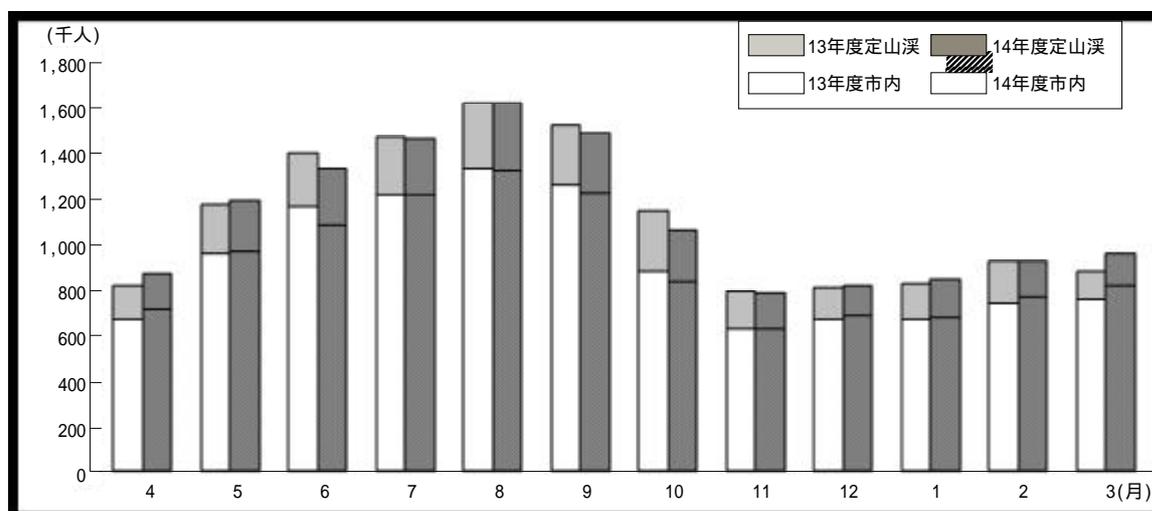
(単位 千人)

表3 - 2 来札観光客の月別入り込み状況

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全 市													
平成10年度	13,081	778	1,114	1,250	1,426	1,563	1,440	1,112	810	827	871	954	936
11年度	13,304	821	1,188	1,292	1,441	1,583	1,444	1,129	798	806	864	968	970
12年度	13,050	770	1,122	1,272	1,427	1,524	1,471	1,108	799	850	876	913	918
13年度	13,280	811	1,166	1,388	1,455	1,609	1,509	1,134	788	806	824	914	876
14年度	13,251	862	1,180	1,321	1,449	1,607	1,473	1,049	782	815	837	920	956
前年度比(%)	99.8	106.3	101.2	95.2	99.6	99.9	97.6	92.5	99.2	101.1	101.6	100.7	109.1
う ち 定 山 溪 地 域													
平成10年度	2,515	140	211	227	243	307	274	275	170	149	179	164	176
11年度	2,565	153	232	234	252	315	275	260	173	152	180	175	164
12年度	2,517	142	218	242	260	313	279	249	171	146	177	164	156
13年度	2,434	150	210	235	249	292	262	259	171	139	164	177	126
14年度	2,392	155	222	244	243	295	255	218	158	135	161	163	143
前年度比(%)	98.3	103.3	105.7	103.8	97.6	101.0	97.3	84.2	92.4	97.1	98.2	92.1	113.5

図3 - 2 来札観光客の月別入り込み状況



3 交通機関別入り込み状況

表3-3 来札観光客の交通機関別入り込み状況

(単位 千人,%)

各年度中

年 度	全 市						市内 (定山溪地域を除く)						定山溪地域			
	合 計	乗用車	J R	航空機	貸し切りバス	路線バス	合 計	乗用車	J R	航空機	貸し切りバス	路線バス	合 計	乗用車	貸し切りバス	路線バス
観 光 客 数																
平成10年度	13,081	4,099	3,192	2,841	2,447	502	10,566	3,192	2,841	2,345	1,826	362	2,515	1,754	621	140
11年度	13,304	4,107	3,189	3,003	2,482	523	10,739	3,189	3,003	2,353	1,814	380	2,565	1,754	668	143
12年度	13,050	4,045	3,170	2,919	2,371	545	10,533	2,322	3,170	2,919	1,740	382	2,517	1,723	631	163
13年度	13,280	3,967	3,130	3,024	2,657	502	10,846	2,343	3,130	3,024	2,003	346	2,434	1,624	654	156
14年度	13,251	3,859	3,199	3,061	2,673	459	10,859	2,239	3,199	3,061	2,047	313	2,392	1,620	626	146
構 成 比																
10年度	100.0	31.3	24.4	21.7	18.7	3.9	100.0	30.2	26.9	22.2	17.3	3.4	100.0	69.7	24.7	5.6
11年度	100.0	30.9	24.0	22.5	18.7	3.9	100.0	29.7	28.0	21.9	16.9	3.5	100.0	68.4	26.0	5.6
12年度	100.0	30.9	24.3	22.4	18.2	4.2	100.0	22.0	30.1	27.8	16.5	3.6	100.0	68.4	25.1	6.5
13年度	100.0	29.9	23.6	22.7	20.0	3.8	100.0	21.5	28.9	27.9	18.5	3.2	100.0	66.7	26.9	6.4
14年度	100.0	29.1	24.1	23.1	20.2	3.5	100.0	20.6	29.4	28.2	18.9	2.9	100.0	67.7	26.2	6.1
前 年 度 比																
10年度	99.8	101.5	100.0	102.6	94.5	96.7	99.3	100.0	102.6	99.9	93.4	95.9	101.9	103.8	97.6	98.7
11年度	101.7	100.2	99.9	105.7	101.4	104.2	101.6	99.9	105.7	100.3	99.3	105.2	102.0	100.0	107.6	102.1
12年度	98.1	98.5	99.4	97.2	95.5	104.2	98.1	98.7	99.4	97.2	95.9	100.5	98.1	98.2	94.5	114.0
13年度	101.8	98.1	98.7	103.6	112.1	92.1	103.0	100.9	98.7	103.6	115.1	90.6	96.7	94.3	103.6	95.7
14年度	99.8	97.3	102.2	101.2	100.6	91.4	100.1	95.6	102.2	101.2	102.2	90.5	98.3	99.8	95.7	93.6

表3-4 来札観光客の交通機関別, 月別内訳

(単位 千人)

平成14年度・各月中

月 次	全 市						市内 (定山溪地域を除く)						定山溪地域			
	合 計	乗用車	J R	航空機	貸し切りバス	路線バス	合 計	乗用車	J R	航空機	貸し切りバス	路線バス	合 計	乗用車	貸し切りバス	路線バス
年度計	13,251	3,859	3,199	3,061	2,673	459	10,859	2,239	3,199	3,061	2,047	313	2,392	1,620	626	146
平成14年4月	862	264	169	195	200	34	707	161	169	195	155	27	155	103	45	7
5月	1,180	395	208	236	302	39	958	247	208	236	238	29	222	148	64	10
6月	1,321	417	200	254	413	37	1,077	266	200	254	332	25	244	151	81	12
7月	1,449	453	238	285	431	42	1,206	295	238	285	359	29	243	158	72	13
8月	1,607	549	341	301	367	49	1,312	330	341	301	305	35	295	219	62	14
9月	1,473	455	291	298	387	42	1,218	284	291	298	315	30	255	171	72	12
10月	1,049	342	267	278	128	34	831	191	267	278	74	21	218	151	54	13
11月	782	205	239	221	83	34	624	97	239	221	45	22	158	108	38	12
12月	815	182	276	243	77	37	680	84	276	243	53	24	135	98	24	13
平成15年1月	837	199	296	233	70	39	676	83	296	233	38	26	161	116	32	13
2月	920	214	291	245	138	32	757	115	291	245	84	22	163	99	54	10
3月	956	184	383	272	77	40	813	86	383	272	49	23	143	98	28	17

4 日帰り・宿泊客別入り込み状況

表3-5 来札観光客の日帰り客・宿泊客内訳

(単位 千人, %)

各年度中

年 度	観 光 客 数			構 成 比			前 年 度 比		
	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客
全 市									
平成10年度	13,081	6,954	6,127	100.0	53.2	46.8	99.8	99.1	100.6
11年度	13,304	7,040	6,264	100.0	52.9	47.1	101.7	101.2	102.2
12年度	13,050	7,141	5,909	100.0	54.7	45.3	98.1	101.4	94.3
13年度	13,280	7,200	6,080	100.0	54.2	45.8	101.8	100.8	102.9
14年度	13,251	6,998	6,253	100.0	52.8	47.2	99.8	97.2	102.8
う ち 定 山 溪 地 域									
平成10年度	2,515	778	1,737	100.0	30.9	69.1	101.9	106.1	100.1
11年度	2,565	793	1,772	100.0	30.9	69.1	102.0	101.9	102.0
12年度	2,517	854	1,663	100.0	33.9	66.1	98.1	107.7	93.8
13年度	2,434	784	1,650	100.0	32.2	67.8	96.7	91.8	99.2
14年度	2,392	671	1,721	100.0	28.1	71.9	98.3	85.6	104.3

表3-6 来札観光客の日帰り客・宿泊客別, 月別内訳

(単位 千人)

平成14年度中・各月中

月 次	全 市			う ち 定 山 溪 地 域		
	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客
年度計	13,251	6,998	6,253	2,392	671	1,721
平成14年4月	862	483	379	155	52	103
5月	1,180	693	487	222	94	128
6月	1,321	760	561	244	95	149
7月	1,449	841	608	243	91	152
8月	1,607	935	672	295	141	154
9月	1,473	856	617	255	109	146
10月	1,049	521	528	218	38	180
11月	782	352	430	158	10	148
12月	815	357	458	135	2	133
平成15年1月	837	361	476	161	14	147
2月	920	377	543	163	23	140
3月	956	462	494	143	2	141

5 道内客・道外客別入り込み状況

表3 - 7 来札観光客の道内客・道外客内訳

(単位 千人, %)

各年度中

年 度	観 光 客 数			構 成 比			前 年 度 比		
	合 計	道 内 客	道 外 客	合 計	道 内 客	道 外 客	合 計	道 内 客	道 外 客
全 市									
平成10年度	13,081	7,312	5,769	100.0	55.9	44.1	99.8	98.5	101.5
11年度	13,304	7,420	5,884	100.0	55.8	44.2	101.7	101.5	102.0
12年度	13,050	7,394	5,656	100.0	56.7	43.3	98.1	99.6	96.1
13年度	13,280	7,243	6,037	100.0	54.5	45.5	101.8	98.0	106.7
14年度	13,251	7,180	6,071	100.0	54.2	45.8	99.8	99.1	100.6
う ち 定 山 溪 地 域									
平成10年度	2,515	1,793	722	100.0	71.3	28.7	101.9	102.6	100.3
11年度	2,565	1,812	753	100.0	70.6	29.4	102.0	101.1	104.3
12年度	2,517	1,786	731	100.0	70.9	29.1	98.1	98.6	97.1
13年度	2,434	1,683	751	100.0	69.0	31.0	96.7	94.2	102.7
14年度	2,392	1,649	743	100.0	68.8	31.2	98.3	98.0	98.9

表3 - 8 来札観光客の道内客・道外客別，月別内訳

(単位 千人)

平成14年度中・各月中

月 次	全 市			う ち 定 山 溪 地 域		
	合 計	道 内 客	道 外 客	合 計	道 内 客	道 外 客
年度計	13,251	7,180	6,071	2,392	1,649	743
平成14年4月	862	452	410	155	106	49
5月	1,180	627	553	222	149	73
6月	1,321	677	644	244	161	83
7月	1,449	733	716	243	156	87
8月	1,607	811	796	295	185	110
9月	1,473	807	666	255	176	79
10月	1,049	591	458	218	156	62
11月	782	444	338	158	117	41
12月	815	447	368	135	102	33
平成15年1月	837	506	331	161	125	36
2月	920	518	402	163	108	55
3月	956	567	389	143	108	35

第4章 宿 泊 施 設

1 宿泊調査の概要

(1) 定 義

すべての宿泊施設は「旅館業法」により法的規制を受けている。本書では「旅館業法」の対象施設のうち、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設を除いたものを調査対象とし、以下のとおり分類している。

ア 構造や設備による分類

- (ア)ホ テ ル 全客室の過半数を洋室が占めている施設(簡易宿所を除く)
- (イ)旅 館 全客室の過半数を和室が占めている施設(簡易宿所を除く)
- (ウ)簡易宿所 カプセルホテル、ユースホテル、ペンション。

イ 運営形態等による分類

- (ア)政府登録施設 「国際観光ホテル整備法」に基づいて国土交通大臣の登録を受けた宿泊施設。
- (イ)一 般 施 設 宿泊施設のうち、政府登録施設と公的施設を除いたもの。
- (ウ)公 的 施 設 公共的性格を有する宿泊施設。国・地方公共団体の出資により管理運営される宿泊施設、および各種組合員(民間企業も含む)用の保養所。

なお、本書では、宿泊施設利用者数を利用可能定員数で除して求めた定員利用率と、利用された客室数を利用可能客室数で除して求めた客室稼働率を中心に、宿泊施設の利用状況を調査している。

$$\text{定員利用率} = \frac{\text{宿泊施設利用者数}}{\text{宿泊可能定員数}}$$

$$\text{客室稼働率} = \frac{\text{利用された客室数}}{\text{利用可能客室数}}$$

(2) 調査の内容

- ア 方法 市内全宿泊施設に調査票を送付し、回答をまとめた。
- イ 時期 上期14年4月～9月と下期14年10月～15年3月の年2回
- ウ 項目 客室規模、利用者数、修学旅行生の利用状況、外国人の利用状況

(3) 動 向

ア 宿泊施設の概況

施設数は、全市で、前年から1軒増の208軒になった。ホテル、旅館ともに客室数、定員数は増加したが、旅館軒数が減少している。

イ 宿泊施設の利用状況

- (ア) 定員利用率 全体的に増加しているが、政府登録ホテル、公的ホテル、市内公的旅館、市内簡易宿泊所、定山溪地域の一般旅館が減少した。
- (イ) 客室稼働率 市内政府登録・一般旅館、定山溪地域の政府登録旅館・公的旅館が増加した他は、減少した。

ウ 外国人の宿泊状況

人員にして、約1万人減、率にして約4%減の232,072人になった。アジアからの旅行者が全体の8割以上を占め、そのうちの8割以上は、台湾、香港からの旅行者である。対前年度比で一番伸びが目立ったのは、イギリスの777%増であった。

エ 修学旅行生の宿泊状況

前年に比べ、約7万人減の212,848人になった。定山溪地域の学校数は増加したが、宿泊延べ人数は減少している。全市では、311校が減少しており、延べ人数は、70,645人減少している。発地別で見ると、関東の占める割合が23.4%と一番多く、続いて、近畿の16.8%、九州・沖縄の14.0%の順が多い。

2 宿泊施設の状況

(1) 概況

表4-1 概況年度別推移

各年度末現在

年 度	合 計			ホ テ ル			旅 館			簡 易 宿 所		
	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数
	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人
全 市												
10年度	218	22,326	44,469	128	18,462	30,520	78	3,231	12,708	12	633	1,241
11年度	216	22,584	44,789	128	18,732	30,803	76	3,215	12,718	12	637	1,268
12年度	206	22,474	44,300	127	18,803	31,041	68	3,008	12,009	11	663	1,250
13年度	207	22,771	44,288	127	19,151	31,253	68	2,948	11,733	12	672	1,302
14年度	208	23,117	44,544	129	19,467	31,415	65	2,959	11,810	14	691	1,319
う ち 定 山 溪 地 域												
10年度	46	2,481	10,483	-	-	-	45	2,477	10,451	1	4	32
11年度	45	2,467	10,503	-	-	-	44	2,463	10,471	1	4	32
12年度	39	2,387	10,213	-	-	-	39	2,387	10,213	0	0	0
13年度	39	2,355	9,991	-	-	-	39	2,355	9,991	0	0	0
14年度	34	2,338	9,954	-	-	-	34	2,338	9,954	0	0	0

表4-2 概況規模別

平成15年3月31日現在

区 分	全 市		うち定山溪地域
	軒	構成比 %	
合 計	208	100.0	34
500 室 以上	6	2.9	1
400 ~ 499	3	1.4	0
300 ~ 399	9	4.3	1
200 ~ 299	18	8.7	3
100 ~ 199	46	22.1	0
50 ~ 99	43	20.7	5
49 室 以下	83	39.9	24

表4-3 概況分類別

平成15年3月31日現在

区 分	合 計			政府登録施設			一 般 施 設			公 的 施 設		
	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数
	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人
全 市												
合 計	208	23,117	44,544	38	8,503	19,397	129	12,862	21,293	41	1,752	3,854
ホ テ ル	129	19,467	31,415	27	6,506	10,841	87	11,654	18,412	15	1,307	2,162
旅 館	65	2,959	11,810	11	1,997	8,556	31	654	2,024	23	308	1,230
簡易宿泊所	14	691	1,319	-	-	-	11	554	857	3	137	462
う ち 定 山 溪 地 域												
合 計	34	2,338	9,954	10	1,949	8,406	7	151	629	17	238	919
ホ テ ル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
旅 館	34	2,338	9,954	10	1,949	8,406	7	151	629	17	238	919
簡易宿泊所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 構造別推移

表4 4 構造別推移市内ホテル

各年度末現在

年 度	合 計			政府登録ホテル			一 般 ホ テ ル			公 的 ホ テ ル		
	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数
	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人
10年度	128	18,462	30,520	26	6,071	10,319	87	11,096	18,072	15	1,295	2,129
11年度	128	18,732	30,803	26	6,067	10,317	86	11,308	18,236	16	1,357	2,250
12年度	127	18,803	31,041	28	6,775	11,681	83	10,671	17,126	16	1,357	2,234
13年度	127	19,151	31,253	28	6,817	11,737	83	10,980	17,288	16	1,354	2,228
14年度	129	19,467	31,415	27	6,506	10,841	87	11,654	18,412	15	1,307	2,162

表4 5 構造別推移市内旅館（定山溪地域を除く）

各年度末現在

年 度	合 計			政府登録旅館			一 般 旅 館			公 的 旅 館		
	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数
	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人
10年度	33	754	2,257	2	88	260	26	596	1,744	5	70	253
11年度	32	752	2,247	2	88	242	26	592	1,724	4	72	281
12年度	29	621	1,796	1	48	150	24	519	1,394	4	54	252
13年度	29	593	1,742	1	48	150	24	492	1,339	4	53	253
14年度	31	621	1,856	1	48	150	24	503	1,395	6	70	311

表4 6 構造別推移市内簡易宿泊所

各年度末現在

年 度	合 計			一 般 簡 易 宿 泊 所			公 的 簡 易 宿 泊 所		
	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数
	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人
10年度	11	629	1,209	8	510	727	3	119	482
11年度	11	633	1,236	8	514	754	3	119	482
12年度	11	663	1,250	9	526	789	2	137	461
13年度	12	672	1,302	10	535	840	2	137	462
14年度	14	691	1,319	11	554	857	3	137	462

表4 7 構造別推移定山溪旅館

各年度末現在

年 度	合 計			政府登録旅館			一 般 旅 館			公 的 旅 館		
	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数
	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人	軒	室	人
10年度	45	2,477	10,401	10	1,966	8,500	6	143	585	29	368	1,316
11年度	44	2,463	10,471	10	1,948	8,504	7	151	634	27	364	1,333
12年度	39	2,387	10,213	10	1,948	8,504	6	128	529	23	311	1,180
13年度	39	2,355	9,991	10	1,899	8,214	7	151	619	22	305	1,158
14年度	34	2,338	9,954	10	1,949	8,406	7	151	629	17	238	919

3 宿泊施設利用状況

(1) 全 市

表 4 8 宿泊施設利用者数の推移

年 度	全 市		うち定山溪地域 千人
	千人	前 年 度 比 %	
10年度	9,210	100.7	1,894
11年度	9,418	102.3	1,930
12年度	8,889	94.4	1,812
13年度	9,331	105.0	1,893
14年度	9,478	101.6	1,928

表 4 - 9 宿泊施設の定員利用率

(単位：%)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全 市													
10年度	56.7	36.5	49.1	57.9	67.3	72.8	63.7	59.0	48.9	49.0	51.4	68.8	56.1
11年度	57.9	38.1	53.1	60.1	67.6	73.6	65.7	64.5	50.6	47.6	49.7	67.1	56.2
12年度	54.6	34.2	46.1	57.1	62.5	65.2	66.4	59.3	49.6	49.1	50.6	63.1	52.5
13年度	57.5	37.3	50.4	59.9	63.1	70.0	68.3	58.3	51.2	55.9	52.9	68.4	55.4
14年度	58.1	40.8	51.5	60.5	63.8	70.7	67.0	59.9	51.0	54.1	53.4	67.8	57.2
う ち 定 山 溪 地 域													
10年度	49.8	35.0	38.8	44.5	47.1	61.1	52.5	55.8	51.1	46.3	56.7	54.5	53.9
11年度	50.6	37.7	44.4	47.0	50.0	61.8	51.9	63.5	50.9	43.0	52.1	54.4	50.4
12年度	48.1	33.9	38.5	40.4	45.5	50.4	51.2	61.8	51.2	46.5	55.8	52.6	50.3
13年度	51.3	36.0	41.2	43.2	45.1	49.8	53.1	62.9	55.7	54.3	60.0	59.4	56.0
14年度	52.8	37.9	45.1	51.1	50.3	49.8	53.1	64.8	55.2	54.0	59.5	55.9	57.4

表 4 - 10 宿泊施設の客室稼働率

(単位：%)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全 市													
10年度	67.7	45.8	59.8	71.8	81.3	81.1	76.9	72.2	60.1	57.3	58.8	81.4	66.3
11年度	68.9	47.4	63.5	75.1	82.9	81.6	80.6	76.7	61.4	56.1	57.0	78.6	65.7
12年度	68.4	44.8	58.8	73.6	79.6	81.0	84.8	73.9	61.4	59.8	59.5	77.3	64.9
13年度	69.2	48.2	62.9	75.3	76.5	79.4	84.3	70.4	63.0	64.3	61.5	80.1	64.9
14年度	68.4	52.2	63.0	73.8	78.1	81.5	82.5	71.4	60.0	59.4	59.1	76.3	64.2
う ち 定 山 溪 地 域													
10年度	66.9	45.2	52.6	59.0	66.2	84.4	72.5	76.4	67.1	61.2	73.3	75.2	68.8
11年度	68.2	50.3	60.8	66.7	74.6	87.1	73.3	83.7	65.4	56.3	66.2	71.9	62.0
12年度	67.4	51.2	56.8	60.0	70.0	78.2	74.3	80.8	67.1	61.7	72.4	71.1	65.2
13年度	71.6	49.9	60.7	62.1	65.4	75.9	78.0	84.5	75.6	73.8	78.7	82.3	73.3
14年度	76.7	61.5	70.7	77.5	77.8	85.6	84.0	87.7	75.5	71.4	77.2	77.4	74.9

注) 客室稼働率は簡易宿所営業を含まない。

(2) 市内ホテル

表4-11 市内ホテルの定員利用率

(単位：%)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政 府 登 録 ホ テ ル													
10年度	70.5	48.0	67.1	72.7	81.7	82.6	76.3	71.0	61.5	65.6	63.1	86.8	70.4
11年度	72.4	49.8	70.5	75.8	82.5	85.7	80.6	78.5	62.7	62.4	62.7	84.7	72.4
12年度	67.8	40.8	58.6	70.3	75.5	77.1	80.9	73.2	60.2	64.3	62.9	81.2	69.7
13年度	68.1	44.9	65.0	74.4	75.8	82.5	80.7	67.4	57.2	66.1	58.1	80.5	65.5
14年度	66.6	46.2	63.5	70.1	73.5	81.2	77.7	69.8	53.2	62.7	58.9	77.2	65.5
一 般 ホ テ ル													
10年度	57.1	34.1	48.0	59.8	72.3	75.8	66.1	58.3	45.9	48.3	47.6	73.4	54.7
11年度	58.0	35.5	52.1	61.0	71.6	76.6	68.5	62.6	48.6	48.0	46.1	70.2	55.6
12年度	53.8	32.4	44.9	60.4	65.7	66.8	69.5	55.2	46.5	47.2	45.3	64.0	48.0
13年度	57.8	35.2	49.6	62.0	65.7	74.2	72.2	54.4	49.1	56.6	50.5	72.0	53.7
14年度	60.6	40.9	51.5	62.7	68.2	79.1	73.0	56.0	52.5	56.4	52.8	76.0	58.4
公 的 ホ テ ル													
10年度	59.9	36.9	55.5	68.2	83.2	90.8	74.1	64.0	49.1	34.6	44.7	67.8	53.7
11年度	57.5	33.1	56.3	69.5	80.1	85.0	71.6	64.5	46.8	33.3	38.9	62.3	47.8
12年度	55.8	35.7	50.6	65.3	77.7	81.4	72.4	53.7	47.7	36.8	41.2	59.3	48.5
13年度	58.2	37.8	53.5	68.0	77.9	84.4	74.1	56.7	48.5	41.0	44.9	61.9	49.8
14年度	53.3	40.5	46.0	58.9	65.3	71.2	63.3	53.8	46.7	38.4	44.0	58.4	53.3

表4-12 市内ホテルの客室稼働率

(単位：%)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政 府 登 録 ホ テ ル													
10年度	76.5	56.1	73.1	80.3	87.7	83.3	83.2	80.0	69.8	69.7	67.9	90.4	77.9
11年度	78.0	56.8	74.8	83.6	88.6	84.8	87.3	85.4	70.7	67.7	68.1	88.9	79.1
12年度	77.0	51.3	67.9	81.3	87.8	84.7	95.6	81.1	72.1	70.6	68.1	85.8	77.8
13年度	77.5	57.2	75.4	85.6	84.3	84.9	92.3	77.9	69.6	72.9	67.7	86.9	75.0
14年度	73.1	56.8	71.9	79.1	84.0	84.0	88.2	72.3	61.8	64.2	63.1	80.8	71.3
一 般 ホ テ ル													
10年度	62.9	40.2	52.9	68.5	79.6	78.4	73.7	67.0	53.5	51.6	52.2	78.3	59.7
11年度	64.0	42.3	57.3	70.5	80.2	78.4	77.3	70.7	55.7	51.2	49.8	74.4	59.5
12年度	63.7	39.1	53.0	71.0	75.2	78.6	79.6	69.5	60.1	55.3	53.0	74.8	57.2
13年度	64.4	42.9	55.9	71.5	73.3	76.2	81.0	63.4	57.2	59.6	55.7	77.1	58.8
14年度	63.2	46.3	54.3	68.3	72.8	78.0	77.8	67.3	55.1	55.4	53.1	73.0	58.1
公 的 ホ テ ル													
10年度	69.2	43.1	63.1	78.5	89.8	92.2	83.4	75.4	60.7	42.7	52.1	79.9	64.8
11年度	67.4	39.4	63.1	80.2	87.1	85.6	83.7	76.4	59.0	42.3	47.8	75.5	58.7
12年度	65.1	42.7	58.9	76.6	86.1	84.6	82.8	65.6	60.2	45.1	49.1	70.4	57.7
13年度	66.5	43.6	60.4	76.9	83.9	84.9	83.5	69.5	61.0	51.5	55.2	74.1	58.0
14年度	65.7	50.2	63.2	77.5	85.0	86.9	84.0	64.3	56.2	44.8	50.2	71.8	55.4

(3) 市内旅館（定山溪地域を除く）

表4 - 13 市内旅館の定員利用率

(単位：%)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政 府 登 録 ・ 一 般 旅 館													
10年度	26.2	12.2	22.3	32.6	43.5	43.1	34.5	28.2	16.7	13.9	16.6	29.3	21.6
11年度	26.8	12.9	25.0	37.8	42.0	42.6	38.5	26.6	15.4	12.7	18.6	29.2	20.1
12年度	27.3	15.8	28.4	40.8	41.2	45.4	42.5	23.3	16.2	15.2	17.9	24.1	16.0
13年度	29.9	16.9	21.3	35.3	39.5	47.3	40.0	30.7	25.1	22.5	23.2	32.8	23.5
14年度	27.2	16.9	21.3	39.1	41.8	46.1	34.4	32.1	19.4	14.6	16.2	27.2	17.3
公 的 旅 館													
10年度	30.6	20.4	27.0	37.8	37.0	37.8	33.9	37.7	30.0	23.8	25.6	32.8	21.1
11年度	27.6	17.1	24.0	31.6	32.2	32.4	37.2	37.0	24.0	21.4	21.8	27.2	23.2
12年度	29.3	22.6	29.6	36.7	33.4	45.2	33.1	32.5	36.1	19.8	21.7	25.0	16.6
13年度	28.2	31.0	31.4	43.5	34.5	39.9	38.9	28.1	21.6	15.4	16.2	22.3	16.4
14年度	22.5	19.4	22.9	29.0	25.5	27.6	31.6	28.9	20.4	15.4	18.3	20.7	10.9

表4 - 14 市内旅館の客室稼働率

(単位：%)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政 府 登 録 ・ 一 般 旅 館													
10年度	46.9	25.9	38.5	54.7	67.9	66.1	59.1	48.0	35.7	28.6	35.1	55.8	40.8
11年度	55.1	31.3	45.3	66.0	79.6	76.2	80.3	56.7	40.9	33.0	39.5	65.3	47.9
12年度	57.7	45.1	52.7	73.3	79.1	77.1	86.3	52.3	39.7	34.5	42.4	52.3	47.8
13年度	56.4	36.0	49.9	71.2	69.3	73.5	74.3	59.0	45.1	41.7	45.4	64.7	46.7
14年度	72.5	45.3	47.3	60.7	67.1	67.9	68.9	100.7	84.6	75.4	76.9	97.8	78.2
公 的 旅 館													
10年度	46.9	30.4	37.0	52.4	59.6	56.4	54.2	58.0	43.5	38.9	37.5	53.3	37.7
11年度	48.0	36.8	41.4	60.1	61.9	57.7	66.4	52.1	38.6	35.2	37.2	48.1	39.4
12年度	44.7	39.7	46.8	57.8	54.0	61.6	59.5	48.9	38.8	32.3	28.2	38.6	29.7
13年度	44.4	42.7	46.9	66.2	54.7	60.2	61.1	45.7	40.1	31.9	31.9	39.8	30.5
14年度	42.8	33.8	38.8	54.1	52.6	55.6	63.3	50.8	40.8	29.0	35.6	42.3	17.8



北海道庁旧本庁舎

レンガ造りの美しい外観から「赤れんが」の愛称で親しまれている北海道庁旧本庁舎は、アメリカ・マサチューセッツ州の議事堂をモデルに、明治21年に建てられたものです。建物内も見学ができます。

(4) 市内簡易宿所

表4 - 15 市内簡易宿泊所の定員利用率

(単位：%)

各年度中

年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10年度	45.3	34.7	42.0	46.8	62.3	77.2	55.6	42.6	22.3	31.0	37.6	46.0	41.1
11年度	41.8	26.5	30.3	41.5	52.7	61.0	48.8	40.4	35.5	32.6	38.2	46.0	44.6
12年度	42.5	29.7	34.0	44.7	52.7	64.8	51.0	38.9	37.8	35.0	39.8	40.6	40.9
13年度	42.4	31.4	32.7	48.9	58.4	69.3	51.3	33.8	31.1	38.6	38.0	40.6	35.5
14年度	39.0	39.9	40.6	48.2	49.3	59.6	49.3	34.4	26.9	25.8	30.3	35.7	28.3

ブラック・スライド・マントラ



アメリカ日系二世彫刻家・故イサム・ノグチが、大通公園の8・9丁目に制作した黒御影石のブラック・スライド・マントラ（渦巻き状の滑り台）。ブラック・スライド・マントラとは、古いインドの天文台「YANTRA MANTRA」にちなんで名づけられたものです。この滑り台は「子供たちの楽しい遊び場をつくりたい」というノグチの遺志を尊重し、大通公園を横切る道路をふさいで設置しました。



時計台

札幌のシンボル時計台は札幌農学校（北海道大学の前身）の演武場として明治11年に開拓使により建築されました。時計台の歴史を紹介したパネル展示のほか、普段見ることのできない時計の動く仕組みを大型画面で解説するとともに、同一機種の時計を実物展示しており、目の前で見ることができます。

大倉山ジャンプ競技場



1972年の冬季オリンピック札幌大会の90m級（現ラージヒル）の舞台ともなった場所。現在も数多くのジャンプ大会が開催され、選手達のダイナミックなジャンプを観戦できます。

また、展望台としても開放されており、スタート台からは日本海、石狩平野が望めます。さらに、ウィンタースポーツミュージアムが併設されており、ジャンプなどの疑似体験も楽しめます。

(5) 定山溪地域旅館の利用状況

表4 - 16 定山溪地域旅館の定員利用率

(単位：%)		各年度中											
年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政 府 登 録 旅 館													
10年度	53.0	37.6	40.5	46.6	50.2	65.8	55.9	57.2	53.0	49.7	60.6	59.1	57.1
11年度	53.4	39.8	45.3	49.7	52.6	65.8	54.5	67.2	53.1	45.7	55.2	58.4	53.8
12年度	50.2	38.8	40.2	41.9	49.1	55.4	54.9	63.2	51.7	48.3	56.9	53.8	50.8
13年度	53.5	35.4	40.9	43.0	45.9	52.3	54.4	66.5	58.1	59.2	63.9	63.7	60.0
14年度	55.4	39.6	47.2	52.7	52.5	57.0	57.7	67.6	56.1	56.4	62.0	57.6	59.4
一 般 旅 館													
10年度	44.6	32.4	39.7	45.8	44.0	54.8	49.7	56.4	40.1	36.6	38.4	39.4	41.7
11年度	33.4	31.9	47.2	42.7	41.7	43.8	47.2	35.3	24.1	20.1	22.2	23.6	25.3
12年度	31.0	13.3	18.0	19.6	16.0	14.5	25.8	49.9	40.0	32.3	47.2	47.0	48.3
13年度	34.7	38.3	46.8	53.3	57.0	42.3	50.2	30.5	22.6	18.2	23.9	25.3	19.6
14年度	28.7	13.5	24.9	41.0	32.8	30.6	33.9	32.6	28.5	28.0	26.5	25.6	26.5
公 的 旅 館													
10年度	36.8	23.1	27.0	29.7	34.4	45.6	42.1	48.3	44.8	28.5	40.4	33.1	40.1
11年度	40.6	26.4	37.6	32.4	37.8	45.1	39.2	52.6	49.1	36.3	46.4	41.9	40.3
12年度	43.4	33.0	39.0	42.3	37.4	36.3	40.6	57.0	52.5	39.5	51.8	46.6	47.9
13年度	44.6	39.3	40.8	40.8	34.8	35.5	45.1	55.0	56.5	39.9	52.1	48.1	47.3
14年度	49.7	39.1	40.3	43.5	40.0	35.2	43.4	62.2	63.6	50.0	60.1	59.8	59.7

表4 - 17 定山溪地域旅館の客室稼働率

(単位：%)		各年度中											
年 度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政 府 登 録 旅 館													
10年度	71.8	48.8	55.0	62.4	71.8	94.1	78.4	78.5	70.3	66.1	79.0	82.7	73.1
11年度	71.7	53.3	63.2	71.6	80.4	94.8	78.0	87.3	67.0	58.2	68.4	75.4	64.6
12年度	70.7	53.8	59.5	62.7	75.3	84.3	79.4	84.2	69.9	64.9	74.7	74.0	66.7
13年度	74.5	50.6	62.1	64.3	68.9	79.5	81.4	87.4	78.2	77.9	82.1	86.3	76.5
14年度	78.6	63.1	72.7	79.8	80.7	88.9	87.2	89.5	76.2	72.7	78.8	78.8	75.7
一 般 旅 館													
10年度	66.7	45.6	56.9	62.7	67.1	76.6	69.8	86.3	71.4	68.2	68.5	73.4	78.6
11年度	58.3	47.7	69.2	64.4	63.6	64.2	67.1	65.2	31.0	27.2	38.0	41.6	25.0
12年度	47.7	22.3	24.5	25.7	63.7	24.1	39.8	64.7	52.5	42.1	65.6	62.1	66.3
13年度	54.6	48.3	65.6	53.4	52.7	62.2	70.0	60.4	45.0	35.9	51.1	53.2	34.9
14年度	46.7	30.5	48.0	69.4	49.3	49.0	55.9	49.5	46.2	50.1	33.8	33.2	45.6
公 的 旅 館													
10年度	44.1	26.8	33.4	35.9	45.0	57.4	52.8	54.1	49.6	34.9	46.2	40.5	46.1
11年度	49.7	35.0	45.0	41.9	48.0	54.3	50.3	61.8	56.9	46.0	53.7	52.8	49.3
12年度	51.0	40.6	46.5	49.9	46.5	51.0	49.7	62.4	57.9	46.9	58.2	53.9	52.9
13年度	53.3	44.8	46.4	46.6	40.5	49.6	51.5	67.5	62.3	50.2	59.7	58.7	56.8
14年度	60.7	48.0	50.9	53.3	48.9	54.1	52.7	75.7	73.1	61.4	68.4	71.4	71.3

4 外国人の宿泊状況

表4 - 18 外国人の宿泊年度別推移

区 分	延 べ 宿 泊 者 数			全 市 宿 泊 実 人 数	全 市 平 均 宿 泊 日 数
	全	市			
		前 年 度 比	うち定山溪地域		
	人	%	人	人	日
10年度	158,529	169.1	10,278	121,577	1.3
11年度	201,698	127.2	31,638	162,783	1.2
12年度	223,046	110.6	36,129	180,069	1.2
13年度	241,948	108.5	40,666	199,453	1.2
14年度	232,072	95.9	43,379	187,911	1.2

表4 - 19 外国人の宿泊月別内訳

月 次	全 市			う ち 定 山 溪 地 域
	前 年 度 比	構 成 比		
	人	%	%	人
合 計	232,072	95.9	100.0	43,379
平成14年 4月	11,190	138.9	4.8	2,689
5月	13,081	126.7	5.6	1,866
6月	27,339	188.2	11.8	3,908
7月	36,620	128.3	15.8	9,651
8月	27,425	115.5	11.8	5,520
9月	13,347	93.4	5.8	2,696
10月	16,704	94.7	7.2	3,266
11月	12,160	89.9	5.2	1,873
12月	22,938	76.5	9.9	2,646
平成15年 1月	15,952	68.3	6.9	3,183
2月	27,869	61.4	12.0	5,143
3月	7,447	59.0	3.2	938



札幌芸術の森

札幌の南部に位置する総合芸術施設。広々とした自然の中に立つ彫刻群を触りながら鑑賞できる野外美術館や、企画展が催される芸術の森美術館、クラフト作品を展示・販売している工芸館、団体に陶芸や七宝焼を楽しめるクラフト工房などがあります。

表4 - 20 外国人の宿泊発地別内訳

(単位：人・%)

州名, 国・地域名	宿泊延べ人員 人	構 成 比 %	前 年 度 比 %
合 計 (州 別)	232,072	100.0	95.9
ア ジ ア	191,579	82.6	95.0
ヨ ー ロ ッ パ	17,733	7.6	148.3
北 米	13,793	6.0	89.0
中 南 米	2,432	1.0	277.0
オ セ ア ニ ア	1,491	0.6	95.1
ア フ リ カ	260	0.1	34.9
不 明	4,784	2.1	50.0
(国・地域別)			
台 湾	92,863	40.0	90.8
香 港	65,259	28.1	86.5
韓 国	20,245	8.7	152.1
アメリカ合衆国	12,342	5.3	90.9
中 国	8,069	3.5	141.8
イ ギ リ ス	7,244	3.1	877.0
ド イ ツ	2,756	1.2	133.7
ロ シ ア	1,634	0.7	64.3
カ ナ ダ	1,451	0.6	75.8
オーストラリア	1,166	0.5	114.0
そ の 他	14,259	6.2	103.9
不 明	4,784	2.1	50.0

参 考

表4-21 訪日外国人の推移

年	訪日外国人数
3	3,532,651
4	3,581,540
5	3,410,447
6	3,468,055
7	3,345,274
8	3,837,113
9	4,218,208
10	4,103,057
11	4,437,863
12	4,757,146
13	4,771,555
14	5,238,963

注) 一次上陸を含む。
資料 「国際観光振興会 (JNTO)資料」

表4-22 出国日本人数の推移

年	出国日本人数
3	10,633,777
4	11,790,699
5	11,933,620
6	13,578,934
7	15,298,125
8	16,694,769
9	16,802,750
10	15,806,218
11	16,357,572
12	17,818,590
13	16,215,657
14	16,522,804

資料 「国際観光振興会 (JNTO)資料」

表4 - 23 訪日外国人数

(平成14年中)

州名, 国・地域名	延べ宿泊者数		構 成 比 %	平成13年 人	前年度比 %
	人	うち, 観光客			
合 計	5,238,963	3,095,326	100.0	4,771,555	109.8
州 別					
ア ジ ア	3,417,774	2,084,700	65.2	3,085,239	110.8
北 ア メ リ カ	893,971	526,316	17.1	835,465	107.0
ヨ ー ロ ッ パ	671,495	323,296	12.8	615,130	109.2
オ セ ア ニ ア	200,789	133,783	3.8	185,684	108.1
南 ア メ リ カ	33,627	20,219	0.6	30,672	109.6
ア フ リ カ	19,353	6,287	0.4	17,156	112.8
無国籍・その他	1,954	725	0.0	2,209	88.5
国・地域別					
韓 国	1,271,835	756,991	24.3	1,133,971	112.2
台 湾	877,709	769,074	16.8	807,202	108.7
アメリカ合衆国	731,900	412,845	14.0	692,192	105.7
中 国	452,420	101,299	8.6	391,384	115.6
香 港	290,624	255,294	5.5	262,229	110.8
イ ギ リ ス	219,271	124,244	4.2	197,965	110.8
オーストラリア	164,896	114,372	3.1	149,621	110.2
カ ナ ダ	131,542	90,523	2.5	125,570	104.8
フィリピン	129,914	21,645	2.5	124,072	104.7
ド イ ツ	93,936	36,616	1.8	87,740	107.1
そ の 他	874,916	412,423	16.7	799,609	109.4

注) 一次上陸を含む。
資料 「国際観光振興会 (JNTO)資料」

5 修学旅行生の宿泊状況

表4 - 24 修学旅行生の宿泊月別内訳

年度・月次	全 市		うち定山溪地域	
	学 校 数	宿 泊 延 べ 人 員	学 校 数	宿 泊 延 べ 人 員
	校	人	校	人
10年度	1,331	247,867	297	78,311
11年度	1,579	271,974	318	84,908
12年度	1,559	280,083	448	91,542
13年度	1,585	283,493	368	74,792
14年度	1,274	212,848	398	71,899
平成14年4月	23	1,943	10	886
5月	263	28,133	78	7,798
6月	237	35,368	81	9,770
7月	127	19,109	43	5,391
8月	47	3,746	15	1,277
9月	175	22,242	59	6,599
10月	157	37,794	27	6,769
11月	8	850	0	0
12月	83	23,379	31	10,980
平成15年1月	66	18,866	23	11,104
2月	50	12,851	17	7,317
3月	38	8,567	14	4,008

表4 - 25 修学旅行生の宿泊発地別内訳

区 分	全 市			うち定山溪地域	
	学 校 数	宿 泊 延 べ 人 員	構 成 比	学 校 数	宿 泊 延 べ 人 員
			%		
校	人	%	校	人	
合 計	1,274	212,848	100.0	398	71,899
道 内	379	25,372	11.9	158	12,227
東 北	56	6,759	3.2	2	284
関 東	253	49,775	23.4	88	14,848
中 部	95	15,071	7.1	13	1,592
近 畿	167	35,890	16.8	67	14,853
中 国	108	27,861	13.1	27	11,191
四 国	98	20,428	9.6	22	6,163
九 州・沖 縄	99	29,764	14.0	21	10,741
不 明	19	1,928	0.9	0	0

参 考 資 料

1 観光施設利用状況

表 - 1 主な観光施設入場者数

(単位：人)

各年度中

施設名	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	前年度比 %
円山動物園	723,546	590,332	674,296	740,755	705,332	95.2%
大倉山ジャンプ競技場 ¹⁾			732,713	678,791	650,293	95.8%
藻岩山	649,360	632,953	525,975	606,727	534,019	88.0%
羊ヶ丘展望台	638,601	621,066	515,186	547,353	504,638	92.2%
テレビ塔展望台	501,832	503,408	448,266	435,242	498,286	114.5%
サッポロさとらんど	453,900	364,200	347,800	359,160	457,100	127.3%
北海道立近代美術館	200,054	371,945	169,409	401,385	435,285	108.4%
北海道庁旧本庁舎	306,528	267,073	259,818	368,435	368,378	100.0%
札幌市青少年科学館	317,217	385,086	386,777	360,613	366,415	101.6%
札幌芸術の森	301,111	231,282	265,066	285,099	321,278	112.7%
札幌時計台 ²⁾	189,238	337,917	257,771	259,862	264,948	102.0%
北海道開拓の村	295,465	271,911	228,096	218,840	217,574	99.4%
イシヤチョコレートファクトリー	143,522	163,182	177,400	191,152	207,836	108.7%
札幌市資料館	172,351	170,321	155,056	207,273	202,074	97.5%
札幌ドーム ³⁾				301,613	152,860	50.7%
札幌ウィンタースポーツミュージアム ⁴⁾			134,561	129,259	129,963	100.5%
サッポロビール博物館	190,748	176,166	158,035	142,268	121,674	85.5%
サンピアザ水族館	138,741	128,434	120,696	113,317	119,062	105.1%
JRタワー展望台 T38 ⁵⁾					117,700	
豊平峡	74,639	79,460	90,131	97,142	93,853	96.6%
豊平川さけ科学館	98,689	92,191	91,311	96,489	83,377	86.4%
北海道開拓記念館 ⁶⁾	73,855	75,898	70,830	67,151	79,351	118.2%
北大附属植物園	109,083	96,037	85,879	83,533	77,815	93.2%
宮の森ジャンプ競技場	310,371	298,247	78,194	68,610	62,619	91.3%
オートリゾート滝野	44,990	40,880	39,716	42,429	42,136	99.3%
雪印乳業史料館	119,950	114,489	63,228	74,644	39,631	53.1%
北海道立文学館	18,102	25,989	24,085	26,177	38,203	145.9%
札幌市下水道科学館	48,773	45,372	35,450	42,128	37,525	89.1%
定山溪自然の村 ⁷⁾	22,936	21,604	21,527	19,417	25,366	130.6%
豊平館	26,580	23,596	19,573	26,386	24,422	92.6%
渡辺淳一文学館 ⁸⁾	13,138	13,394	11,966	13,567	14,734	108.6%
八窓庵 ⁹⁾	7,877		9,406	10,366	12,854	124.0%
札幌彫刻美術館	5,748	4,824	5,073	5,368	6,152	114.6%

注：1)平成8年4月1日から平成12年4月21日まで改修工事のため閉鎖した。

2)平成7年1月から平成10年9月まで改修工事のため休館した。

3)平成13年6月にオープンした。

4)平成12年4月にオープンした。

5)平成15年3月にオープンした。

6)平成10年11月5日から平成11年3月31日まで改修工事のため休館した。

7)平成10年6月27日にオープンした。平成13年度は施設側からの申し出により、データを修正した。

8)平成10年6月20日にオープンした。

9)平成11年4月から平成12年3月まで改修工事のため休館した。

表 - 2 スキー場利用者数^{注)}

年 度	各年度中											
	合 計	手稲山 オリン ピック	テイネ ハ イ ランド	テイネ オリン ピ ア	荒井山	コバワ ー ルド	ば ん け い	藻岩山	真駒内	フッズ スノー エリア	小鳥の 村	定山溪 高原札 幌国際
人数(千人)												
10年度	1,705	51	249	323	14	90	246	247	93		3	389
11年度	1,576	46	220	306	13	91	225	221	83		4	367
12年度	1,461	44	222	279		82	208	198	84		1	343
13年度	1,476	33	208	274		84	192	213	80	30	1	361
14年度	1,524	51	202	263		79	191	156	78	144		360
前年度比(%)	103.3	154.5	97.1	96.0		94.0	99.5	73.2	97.5	480.0		99.7
リフト利用回数(千回)												
10年度	13,033	270	1,963	1,936	45	1,079	2,123	1,699	1,155		24	2,739
11年度	11,943	239	1,866	1,840	36	914	1,910	1,537	1,030		26	2,545
12年度	10,748	175	1,709	1,677		821	1,666	1,399	942		8	2,351
13年度	11,385	171	1,586	1,642		843	1,528	1,345	968	694	10	2,598
14年度	11,189	103	1,505	1,578		789	1,667	1,220	955	826		2,546
前年度比(%)	98.3	60.2	94.9	96.1		93.6	109.1	90.7	98.7	119.0		98.0
平成14年度 営業期間		11/23 ~ 3/23	11/23 ~ 4/13	12/7 ~ 3/31	現 在 休止中	12/21 ~ 3/23	12/11 ~ 3/31	12/14 ~ 3/31	12/13 ~ 3/23	12/15 ~ 3/31	平成14年度 休 止	11/9 ~ 5/5

注) 利用者数は各スキー場により集計方法が異なり、推計によるものも含まれる。

表 - 3 スケート場入場者数

年 度	各年度中						
	合 計	真駒内屋外 スケート 競技場	真駒内屋内 スケート 競技場 ¹⁾	美香保屋内 スケート 競技場	月寒屋内 スケート 競技場 ²⁾	円山競技場 屋 外 スケート場	星 置 スケート場
10年度	190,575	17,927	2,491	29,615	87,667	7,481	45,394
11年度	179,465	13,468	24,553	36,255	81,689	7,527	15,973
12年度	168,123	11,697	18,985	25,514	82,674	7,607	21,646
13年度	156,639	18,188		35,327	45,430	8,359	49,335
14年度	141,787	12,815	21,625	39,182		8,276	59,889
前年度比(%)	90.5	70.5		110.9		99.0	121.4

注: 1) 平成11年1月4日から平成11年3月31日まで改修工事のため休館した。

平成13年4月1日から平成14年3月31日まで改修工事のため休館した。

2) 平成15年12月まで改修工事のため休館中。

2 定期観光バス利用者数

表 - 4 定期観光バス利用者数（北海道中央バス）

(単位：人)

各年度中

コース名	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	前年度比(%)
さっぽろ散策バス	84,167	78,514	57,698	48,092	69,917	145.4
春の札幌コース	634	596	657	573	632	110.3
すずらんコース	18,717	16,244	13,128	13,604	12,977	95.4
アカシアコース	7,789	3,984	2,819	3,325	2,419	72.8
札幌おもしろ名所めぐり	4,269	4,559	4,367	3,609	3,282	90.9
札幌一日コース	6,877	5,682	3,994	3,899	3,747	96.1
夜の札幌コース	5,380	4,910	3,824	3,697	3,949	106.8
ポプラコース				3,075	2,596	84.4
初冬の札幌コース	1,048	1,062	1,044	827	796	96.3
冬の札幌コース	2,754	2,666	2,700	2,620	2,366	90.3
白い恋人コース	6,687	6,822	7,320	6,835	6,194	90.6
冬の大通公園展望と生ラムジンギスカン食べ放題 ^{注)}					263	
さっぽろファンタジックナイト	575	487	440	447	167	37.4
合計	138,897	125,526	97,991	90,603	109,305	120.6

注) 平成15年1月より運行

モエレ沼公園



世界的な彫刻家で、大通公園にあるブラック・スライド・マントラの作者故イサム・ノグチ氏のマスタープランによる公園です。札幌の北東に位置する広大な敷地には、世界に類のない「全体を一つの彫刻とみなした公園」として、プレイマウンテン、テトラマウンドなどダイナミックな景観が展開しています。全体の完成は平成16年の予定です。

3 札幌発着航空路線

(1) 国内線

平成15年3月31日現在

発着空港	路線			航空会社	開設年月日	備考
	地方	都道府県	空港			
新千歳	北海道	(渡島支庁)	函館	H A C	H10. 3.28	
		(宗谷支庁)	稚内	A N K	S55. 5.27	
		(網走支庁)	紋別	A N K	H 2. 8. 1	運休中(平成13年4月~)
			女満別	J A S	S40. 6. 1	
		(根室支庁)	中標津	A N K	H 9. 8. 1	
		(釧路支庁)	釧路	A N K	S55. 5.27	
	東北	青森県	青森	J A S	S41. 5. 1	
			三沢	H A C	H11. 1.16	
		岩手県	花巻	J A S	S51. 7. 1	
			三沢	J A S	S43. 5. 1	
		宮城県	仙台	J A S	S54. 5. 1	
			仙台	A N A	S33. 6. 1	
		秋田県	秋田	J E X	H12. 1.11	
			大館能代	J A S	S40. 5. 1	
		山形県	山形	A N K	H10. 7.18	運休中(平成11年11月~)
			庄内	J A S	S44.10.18	
	福島県	福島	A N K	H12. 5. 1	運休中(平成14年11月~)	
		福島	J A L	H10. 5.11	運休中(平成14年10月~)	
	関東	千葉県	成田	A N K	H 5. 3.20	
			成田	J A L	S53. 6. 8	
		東京都	羽田	A N A	H 4.11. 3	
			羽田	J A L	S26.10.26	
	中部	新潟県	新潟	A N A	S34.10.10	
			新潟	J A S	S40. 3. 1	
			新潟	A D O	H10.12.20	
		富山県	富山	J A L	H 8. 7.19	運休中(平成9年11月~)
			富山	A N A	S45. 6. 1	
		石川県	小松	A N K	H14. 7. 1	
			小松	A N A	H 3. 6. 1	
	長野県	松本	A N A	S42. 6.12		
		松本	J A S	H 6. 7.27		
	愛知県	名古屋	名古屋	J A L	S62. 4.25	
			名古屋	A N A	S40. 6. 1	
	近畿	大阪府	伊丹	J A S	H 5. 3. 1	
				A N A	S36. 6. 1	
				J A S	S44. 7. 1	
			関西	S K Y	H 3. 5. 1	
				J A I R	H11. 4.24	運休中(平成12年6月~)
				J A L	H14.10. 1	
	中国	鳥取県	米子	A N A	H 6. 9. 4	
			米子	A N A	H 6. 9. 4	
		島根県	出雲	J A S	H 6. 9. 4	
出雲			J A S	H 6. 9. 4		
岡山県		岡山	A N K	H 8. 4. 1	運休中(平成11年9月~)	
		岡山	J A S	H 8. 7.19	季節運航(6月~9月)	
四国	広島県	広島	A N A	H 2.12.27		
		広島	A N A	S61. 3. 1		
	山口県	広島西	J A S	H 8. 8. 2		
		広島西	J A I R	H14. 5.31		
九州	徳島県	徳島	A N A	H 5. 5. 2	運休中(平成14年4月~)	
		徳島	A N A	H 5. 5. 2		
	香川県	徳島	J A S	H 8. 7.19	季節運航(6月~9月)	
		高松	A N A	H 2.12.25	運休中(平成14年4月~)	
沖縄	愛媛県	松山	A N K	H 9.11. 1		
		高知	A N K	H 8. 4. 1	運休	
	福岡県	福岡	J A L	S46. 7. 1		
		福岡	A N A	H 3. 3. 1		
	九州	長崎県	長崎	J A S	H 8. 9. 2	
			長崎	J A S	H 4. 6.19	運休中(平成11年4月~)
熊本県		熊本	J A S	H 4. 6.19	運休中(平成9年11月~)	
		熊本	J A S	H 4. 6.19	運休中(平成9年11月~)	
九州	大分県	大分	J A S	H 4. 6.19	運休中(平成9年11月~)	
		大分	J A S	H 4. 6.19	運休中(平成9年11月~)	
九州	宮崎県	宮崎	J A S	H 4. 6.19	運休中(平成9年11月~)	
		宮崎	A N A	H 3.10.22	運休中(平成9年11月~)	
九州	鹿児島県	鹿児島	A N K	H 9.11. 1		
		鹿児島	A N K	H 9.11. 1		
丘 珠	北海道	沖縄	J A L	S60. 1.10	季節運航(9月~5月)	
		沖縄	A N A	H 9.11. 1	運休中(平成13年4月~)	
		(渡島支庁)	函館	A N K	S51. 5.15	
		(稚内支庁)	稚内	A N K	S49. 8.10	
		(網走支庁)	紋別	A N K	S49.10.15	
			紋別	A K X	H14. 7. 1	
		(根室支庁)	中標津	A N K	S49.10.15	
		(釧路支庁)	中標津	A N K	H 2. 4. 1	
		(釧路支庁)	釧路	A N K	H 2. 4. 1	
		(釧路支庁)	釧路	A K X	H14. 7. 1	

注) 航空会社欄のJALは日本航空, ANAは全日本空輸, JASは日本エアシステム, ANKはエア・ニッポン, HACは北海道エアシステム, ADOは北海道国際航空, SKYはスカイマークエアラインズ, JEXIはJALエクスプレス, JAIRはジェイエア, AKXはエア・ニッポンネットワークを示す。

(2) 国際線

平成15年3月31日現在

発着空港	路線	航空会社	開設年月	備考
新千歳	ソウル	大韓航空	平成元年6月	運行再開(平成13年12月～)
	グアム	コンチネンタル航空	平成2年7月	
	香港	キャセイパシフィック航空	平成2年10月	
	ホノルル	日本航空	平成4年2月	運休中(平成10年3月～)
	ケアンズ	カンタスオーストラリア航空	平成4年10月	
	アムステルダム	KLMオランダ航空	平成9年10月	運休中(平成13年2月～)
	瀋陽	中国南方航空	平成10年6月	
	ユジノサハリンスク	サハリン航空	平成13年7月	
	上海	中国東方航空	平成13年8月	
台北	エバー航空	平成15年3月		

4 気象概況

札幌管区気象台発表の数値を基礎に集計したものである。

年度・月次	気温()			日照時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪量 (cm)	寒暖日数 ¹⁾			
	平均	最高	最低				真夏日	夏日	冬日	真冬日
平年 ²⁾	8.5	-	-	1774.8	1127.6	496	7.6	45.6	129.8	48.4
平成10年度	8.8	31.5	-13.5	1582.8	1199.5	621	1	42	131	62
11年度	9.4	35.2	-14.7	1677.9	1113.5	638	15	52	91	43
12年度	8.6	36	-15.0	1594.2	1338.5	497	10	66	128	63
13年度	9.2	29.3	-11.7	1710.7	1162.5	417	0	54	116	45
14年度	8.5	19.8	0.0	1695.9	1074.0	465	2	35	131	61
平成14年4月	9.6	20.3	1.0	190.6	30.5	-	-	-	-	-
5月	13.6	24.5	5.5	223.6	41.0	-	-	-	-	-
6月	15.9	28.5	6.9	191.5	64.5	-	-	5	-	-
7月	20.5	30.3	14.0	130.3	128.0	-	1	12	-	-
8月	20.1	30.6	14.4	105.2	102.5	-	1	9	-	-
9月	17.7	28.8	8.2	176.2	87.5	-	-	8	-	-
10月	12.0	25.4	3.2	126.5	149.0	-	-	1	-	-
11月	2.8	13.9	-5.4	82.3	165.0	25	-	-	16	-
12月	-3.0	10.0	-10.1	102.4	77.5	112	-	-	30	21
平成15年1月	-3.6	5.9	-14.8	102.4	104.0	144	-	-	30	18
2月	-3.5	6.7	-13.0	108.2	59.5	120	-	-	28	18
3月	0.7	12.7	-10.3	156.7	65.0	64	-	-	27	4

1) 真夏日とは最高気温が30.0 以上の日,夏日とは最高気温が25.0 以上の日,冬日とは最低気温が0.0 未満の日,真冬日とは最高気温が0.0 未満の日をいう。

2) 1971年から2000年までの平均値。

5 札幌観光のあゆみ

年 度	沿 革
大正11(1922)年	市制施行。
昭和 2(1927)年	公会堂として豊平館新館完成。
6(1931)年	大倉山シャンツェ竣工。
11(1936)年	札幌観光協会設立。
12(1937)年	札幌 東京間定期路線開設。
21(1946)年	定山溪観光協会設立。
25(1950)年	第 1 回さっぽろ雪まつり開催。
26(1951)年	円山動物園開園。
28(1953)年	札幌 千歳間(国道36号線)弾丸道路舗装完成。
29(1954)年	第 1 回狸まつり, さっぽろ夏まつり開催。
32(1957)年	豊平館, 中島公園内に移築。テレビ塔完成。
33(1958)年	藻岩山観光自動車道, もいわ山ロープウェイ営業開始。
34(1959)年	第 1 回さっぽろライラックまつり開催。ポートランド市と姉妹都市提携調印。羊ヶ丘展望台開設。
35(1960)年	市民の投票により札幌の花(スズラン), 木(ライラック), 鳥(カッコウ)を決定。
38(1963)年	第 1 回さっぽろ菊まつり開催。
40(1965)年	第 1 回定山溪かっぱ祭り開催。第 1 回すすきの祭り開催。
45(1970)年	時計台が重要文化財に指定される。90m級大倉山ジャンプ競技場完成。
46(1971)年	北海道開拓記念館オープン。
47(1972)年	第11回冬季オリンピック大会開催。政令指定都市へ移行し, 7区役所開設。ミュンヘン市と姉妹都市提携調印。豊平峡ダム完成。
48(1973)年	札幌市資料館オープン。札幌観光協会社団法人化。
52(1977)年	「札幌の観光(観光白書)」発行開始。
53(1978)年	「カッコウの窓口」開設。すすきの観光協会設立。
54(1979)年	緑のセンター開設。25年ぶりに豊平川にサケ遡上。
55(1980)年	瀋陽市と友好都市提携調印。冬のスポーツ博物館オープン。本市の観光キャッチフレーズ「好きです。sapporo」がロゴマークとともに決定。
56(1981)年	青少年科学館オープン。第 1 回さっぽろホワイトイルミネーション開催。
58(1983)年	北海道開拓の村オープン。百合が原公園開園。
59(1984)年	第 1 回札幌国際見本市開催。豊平川さけ科学館オープン。
61(1986)年	「国際観光モデル地区」の指定を受ける。第 1 回アジア冬季競技大会, '86さっぽろ花と緑の博覧会開催。札幌芸術の森一部オープン。
62(1987)年	第 1 回さっぽろ国際フェスティバル開催。

年 度	沿 革
平成元(1989)年	定山溪ダム完成。はまなす国体開催。円山動物園に「タスマニア館」オープン。厚別・手稲区の誕生により、9区体制へ移行。
2(1990)年	「さっぽろ雪まつり」の中島会場を第4会場として設置。ノボシビルスク市と姉妹都市提携調印。PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)初開催。「観光基本計画」策定。
3(1991)年	ユニバーシアード冬季大会開催。定山溪に「メルヘンかっぱ像」20体設置。第1回定山溪もみじ大茶会開催。
4(1992)年	政令指定都市移行20周年記念事業メモリアルコンサート「さっぽろの歌」開催。定山溪観光協会社団法人化。観光客誘致キャンペーン「さっぽろの夕べ」初開催。第1回YOSAKOIソーラン祭り開催。
5(1993)年	大通公園(8-9丁目)連続化実現。第1回さっぽろふれあいフェスタ開催。すすきの観光協会社団法人化。
6(1994)年	「国際会議観光都市」の認定を受ける。リンケージ・アップ フェスティバル初開催。阪神淡路大震災のため「さっぽろ雪まつり」の花火大会などを自粛。
7(1995)年	円山動物園にキッドランドと鳥類館オープン。サッポロさとらんど一部オープン。「おおば比呂司記念室」札幌市資料館内にオープン。YOSAKOIソーラン祭り普及振興会設立。札幌市観光産業経済効果調査結果発表。
8(1996)年	「さっぽろリンクルバス」登場。「石山緑地」完成。定山溪温泉「健康保養地」宣言。さっぽろホワイトイルミネーション「日本建築美術工芸協会賞 特別賞」受賞。2002年ワールドカップサッカー大会開催決定。青少年科学館リニューアルオープン。
9(1997)年	下水道科学館、札幌コミュニティドーム(愛称・つどむ)、札幌コンサートホール「Kitara」オープン。道央三温泉協議会設立。札幌市営観光バスを廃止。清田区の誕生により10区体制へ移行。
10(1998)年	YOSAKOIソーラン祭り組織委員会設立。円山動物園「動物センター」、渡辺淳一文学館、定山溪自然の村、モエレ沼公園オープン。さっぽろ夏まつりピアガーデンに地ビール登場。北海道国際航空(エア・ドゥ)就航。
11(1999)年	さっぽろ羊ヶ丘展望台「羊ヶ丘ウエディングパレス」、北海道立総合体育センター(愛称・きたえーる)オープン。
12(2000)年	大倉山ジャンプ競技場(札幌ウィンタースポーツミュージアム:オープン)リニューアルオープン。
13(2001)年	札幌ドーム「Hiroba」オープン。
14(2002)年	2002 FIFAワールドカップ開催(札幌ドームで3試合開催)。ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 開催。札幌駅南口にJRタワーオープン。札幌コンベンションセンターしゅん功。

6 市内のイベント(平成15年度)

日程・イベント名等は予定。変更の可能性もあり。

	イベント名	日程	内 容	会 場	問 合 せ 先	
5 月	溪流鯉のぼり	4月11日(金) ～5月8日(木)	定山溪の溪流に400以上の鯉のぼりを掲揚	定山溪スポーツ公園ほか	定山溪温泉旅館組合	598-2537
	第11回 バイシクルエンデューロ	5月18日(日)	マウンテンバイクによるクロスカントリー競技	藤野野外スポーツ交流施設	札幌市スポーツ振興事業団	530-5550
	第45回ライラックまつり	5月23日(金) ～25日(日)	ライラック苗木のプレゼント、記念植樹、野だて、喫茶コーナーなど	大通公園	実行委員会	211-2376
6 月	第12回 YOSAKOIソーラン祭り	6月4日(水) ～8日(日)	自由で独創的な激しいリズムのついで4万人余りが乱舞	大通公園ほか	組織委員会	231-4351
	北海道神宮例祭	6月14日(土) ～16日(月)	御輿、山車、露店	北海道神宮・札幌市内	北海道神宮	611-0261
	EKIDENカーニバル2003	6月22日(日)	家族や友人などでチームを編成する駅伝レース	モエレ沼公園	読売新聞社	242-3111
	花フェスタ2003札幌	6月28日(土) ～7月6日(日)	パビリオンでのラン展示他、立体花壇や花モニュメントで初夏の札幌の街を彩る	大通公園	事務局	210-5748
	ノルデックウォーキング2003	6月28日(土) 7月12日(土)	ボールを使用しながらウォーキング	6/28 前田森林公園 7/12 真駒内公園	札幌市スポーツ振興事業団	530-5550
7 月	PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル2003)	7月5日(土) ～25日(金)	若手音楽家を育成するとともに、音楽教育を通じて音楽文化の普及・発展をめざす国際音楽祭	芸術の森ほか	組織委員会	520-2222
	2003 札幌住環境フェア	7月17日(木) ～20日(日)	「進化する住まい」をテーマにバリアフリー・リフォーム、エネルギー・雪対策など8つのゾーンに分かれて展示	札幌コンベンションセンター	札幌国際見本市委員会	241-5931
	第16回 さっぽろ旭山音楽祭	7月18日(金)	花火をバックに札幌を一望するステージで700人の大合唱がこだまする野外音楽祭(雨天順延)	旭山記念公園	旭山うた祭りの会	561-9693
	第29回豊平川イカダ下り	7月13日 (雨天時は20日に順延)	広く札幌市民から参加者を募り、4、5人が1チームとなって手製のイカダで川を流下	豊平川南大橋上流	北海道新聞社事務局	210-5732
	第50回さっぽろ夏まつり	7月22日(火) ～8月20日(水)	福祉協賛大通納涼ガーデン(7月22日～8月11日)、北海道盆踊り大会(8月14日～20日)、ザ・パレード(8月16日)	大通公園	実行委員会	211-2376
	赤れんがフェスタ	7月25日(金) ～8月3日(日)	花や音楽などをテーマにさまざまな催し物が繰り広げられる道民参加型イベント	北海道庁旧本庁舎・前庭	赤れんがフェスタ実行委員会 NPO北海道花ネットワーク内	281-8739
	豊平川花火大会	7月18日(金) 25日(金) 8月1日(金)	7月18日(金)道新・UHB花火大会 7月25日(金)読売新聞花火大会 8月1日(金)朝日新聞・HTB花火大会	豊平川南大橋付近	北海道新聞社、読売新聞社、朝日新聞社	道新210-5748 読売242-5630 朝日281-2131
8 月	第39回定山溪かっぱ祭り	8月2日(土) ～3日(日)	よさこいかっぱソーラン、湯けむり太鼓など	定山溪温泉街	定山溪観光協会	598-2012
	第39回すすきの祭り	8月7日(木) ～9日(土)	屋台、花魁道中、みこし渡御、ワゴンセールなど	すすきの地区	すすきの観光協会	518-2005
	第50回狸まつり	7月22日(火) ～8月20日(水)	子供・大人御輿 装飾	狸小路商店街	商店街振興組合	241-5125
	灯籠流し	8月15日(金)		鴨々川護国神社付近	妙心寺	511-7634
	第16回 札幌クロスカントリー大会	8月24日(日)	約1000人のランナーが参加	未定	札幌市スポーツ振興事業団	530-5550
	2003 北海道マラソン	8月31日(日)	国内・外の招待選手をはじめ一般ランナー合せ約3000人がフィニッシュ地点の中島公園を目指す	真駒内屋外競技場スタート、中島公園フィニッシュ	北海道新聞社	232-0840

	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先	
9月	第3回 だいどんでん	9月6日(土), 7日(日)	ストリートパフォーマンス	札幌駅前通(歩行者天国)	青少年センター	671-4111
	リンケージ・アップ フェスティバル	9月6日(土), 7日(日)	全道各地の特産品、郷土芸能を一堂に集め、味覚を楽しみ、交流を深める	大通公園(5~8丁目)	実行委員会	211-2187
	さっぽろ消費者まつり	9月6日(土), 7日(日)	暮らしの安全・健康を守る様々な情報提供の催し	札幌消費者センター・札幌駅周辺	実行委員会	281-5961
	第26回北海道を歩こう	9月7日(日)	36キロコースと18キロコースに分れ、自然の景観をながめながらのんびり歩く	札幌~支笏湖	札幌市スポーツ振興事業団	530-5550
	図書の無料譲渡	9月27日(土)	図書のリサイクル	札幌市内各図書館	中央図書館	512-7330
10月	第28回札幌マラソン大会	10月5日(日)	約10000人が参加する東北以北最大の市民マラソン大会	真駒内屋外競技場スタート	札幌市スポーツ振興事業団	530-5550
	第13回 定山溪もみじ大茶会	10月13日(祝)	茶会	定山溪温泉	定山溪観光協会	598-2012
	SAPPORO秋の図書館フェスティバル	10月中旬 ~11月上旬	未定	札幌市内各図書館	中央図書館	512-7330
	2003さっぽろ菊まつり	10月31日(金) ~11月3日(月)	大輪や懸崖などたくさんの作品を地下街に展示	地下鉄大通駅コンコース他	実行委員会	211-2376
	ノルデックウォーキング 秋の編	10月下旬	ポールを使用しながらウォーキング	真駒内桜山	札幌市スポーツ振興事業団	530-5550
11月	第23回さっぽろホワイトイルミネーション	大通 11月21日(金) ~16年1月4日 駅前11月21日(金) ~16年2月11日(水)	メインオブジェ、立木装飾など、37万個を超える電球で装飾	大通公園・札幌駅前通	札幌観光協会	211-3341
	札幌人形劇祭	11月下旬	道内人形劇団が参加して実施	札幌市こどもの劇場 やまびこ座	実行委員会	753-2858
	ミュンヘン・クリスマス市	11月下旬 ~12月中旬	姉妹都市ミュンヘンのクリスマス市を札幌で開催	大通公園2丁目	(財)札幌国際プラザ経済促進部	211-3677
12月	Kitaraのクリスマス	12月23日(祝)	未定	札幌コンサートホール Kitara	札幌コンサートホール Kitara	520-2000
1月	第3回さっぽろスノーモリアル チャレンジ・ザ・ギネス雪だるまづくり2004	16年1月下旬 ~2月中旬	市民や観光客が雪だるまづくりでギネスに挑戦する	市内各所	実行委員会	271-7090
2月	第55回さっぽろ雪まつり	16年2月5日(木) ~11日(水)	300基を超える雪氷像。開会式、国際雪像コンクール他	大通公園・真駒内・すすきの	実行委員会	211-2376
	第24回札幌国際スキーマラソン大会	16年2月8日(日)	アスリートから一般まで参加可	札幌ドーム他	札幌市スポーツ振興事業団	530-5550
	人形劇フェスティバル 2004年さっぽろ冬の祭典	16年2月上旬	土田栄順氏をゲストにセロ弾きのゴーシュを公演	札幌市こどもの劇場 やまびこ座ほか	実行委員会	753-2858
	第21回札幌市長杯争奪スノーホッケー大会	16年2月中旬	市民を対象に札幌市が開発したスノーホッケーで冬の一日を楽しむ大会	円山総合運動場	札幌市スポーツ部スポーツ事業課	211-3045
	第29回道民・札幌市民歩くスキーの集い	16年2月中旬	5km・10km・15kmを道民・市民が歩くスキーで楽しむ	滝野すすらん丘陵公園	北海道歩くスキー協会	822-4620
	第7回リスト音楽院 セミナー&コンサート	16年2月22日(日) ~25日(水)	ハンガリーのリスト音楽院から講師を招いてのセミナーとコンサート	札幌コンサートホール Kitara	札幌コンサートホール Kitara	520-2000
3月	第15回国際犬ぞりレース札幌大会	16年3月上旬	1頭引きから6頭引きまで雪原でタイムを競う	滝野すすらん丘陵公園	北海道犬ぞり連盟事務局	683-3563

本書は、ホームページ「札幌の観光行政 (<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/index.html>)」で公開されています。

平成15年度版 札幌の観光 - 平成14年度観光の概要 -	市政等資料番号	01-K04-03-0450
	広報印刷番号	15-1-22
	関係部局保存期間	1年

平成15年7月発行

編集・発行 札幌市経済局観光コンベンション部観光振興課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
(011) 211 - 2376



この冊子は再生紙を使用しています。

さっぽろ市